INAX

Shower toilet

取扱説明書

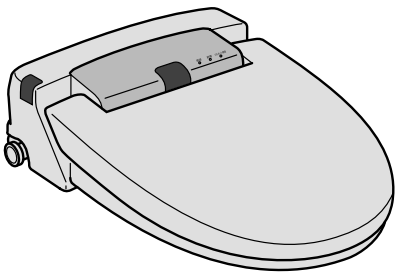
保証書付
（裏表紙）

このたびは当社商品をお買い求めいただき
誠にありがとうございました。
ご使用前にこの説明書をよくお読みのうえ
正しくお使いください。
お読みになった後もすぐ取り出せる場所に、
大切に保管してください。

シャワートイレ
PASSO［パッソ］

CW-E37**型**　• CW-E35**型**

CW-RX2**型**　• CW-RX1**型**



説明書に書かれている注意事項は、必ず守ってください。
不適切な使用により事故が生じた場合、
当社は責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

転居される場合、
次に入居される方にこの説明書をお渡しください。

もくじ

各部のなまえ 1

安全上の注意 4

お使いになる前に確認してください 7

ご使用方法
●ご使用前に準備してください …… 9
（電源・温水・便座）…… 9
●操作は簡単です　（おしり・ビデ洗浄）…… 10
（ワイド洗浄・洗浄位置）… 11
（バブルビート・マッサージ）… 12
（乾燥）…… 13
（脱臭）…… 14
（節電）…… 15
（便フタ・便座電動開閉）…… 16
（ノズルそうじ・ほのかライト）… 17
（ちょっと便利な機能）…… 18
●知っておいていただきたいこと…… 20

お取り扱い上の注意 22

お手入れ方法
●日頃のお手入れ…… 23
●便フタを外して掃除します…… 25
●脱臭効果が弱くなった場合…… 26
●本体を外して掃除します…… 27
●シャワーが弱くなってきたなと思ったら…… 33
●リモコンの電池交換…… 34

長期間使用しない場合…… 35

冬期凍結の恐れがある場合…… 36

修理を依頼される前に
●故障かなと思ったら…… 38

アフターサービス…… 40

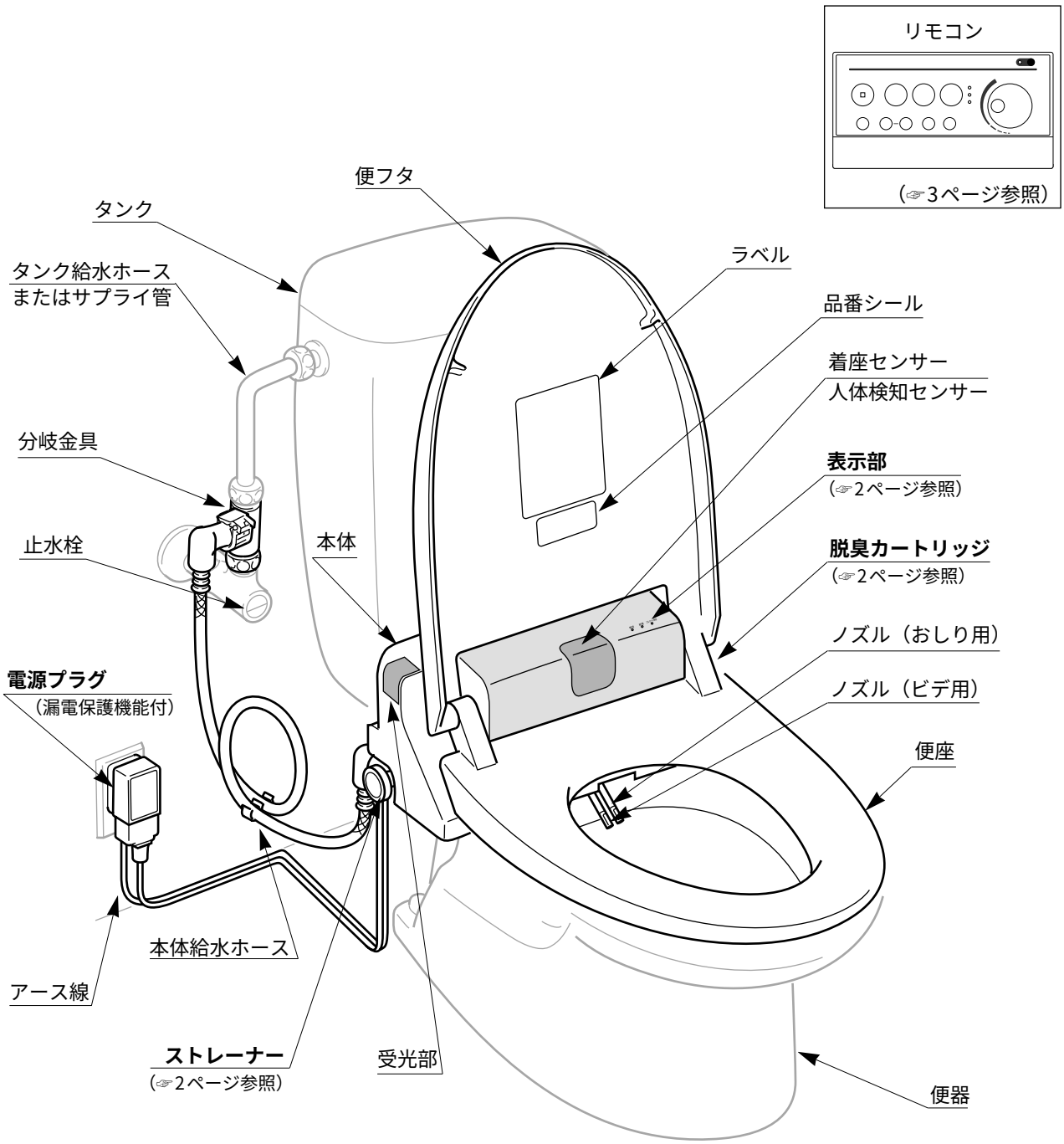
仕様…… 42

別売品のご案内…… 43

保証書…… 裏表紙

各部のなまえ

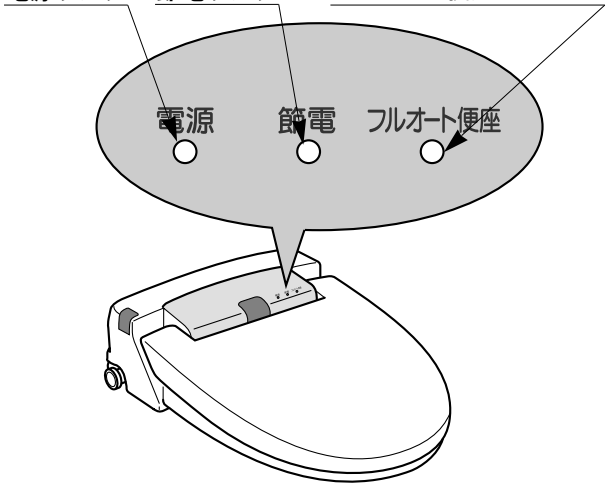
■全体図



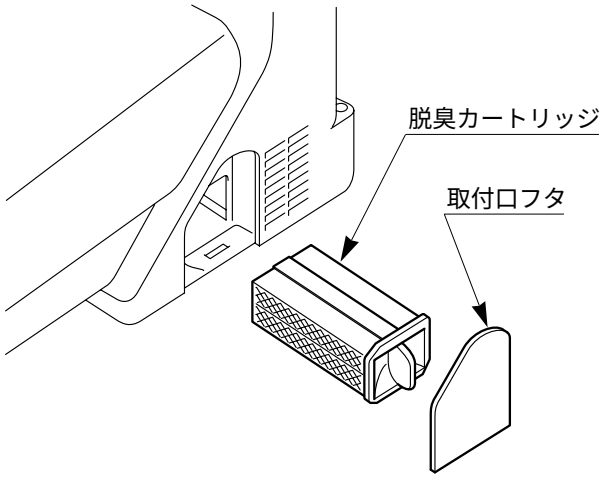
※ 操作は、リモコンのみになります。

※機種によっては、一部機能（☆印付）がない場合があります。

■表示部

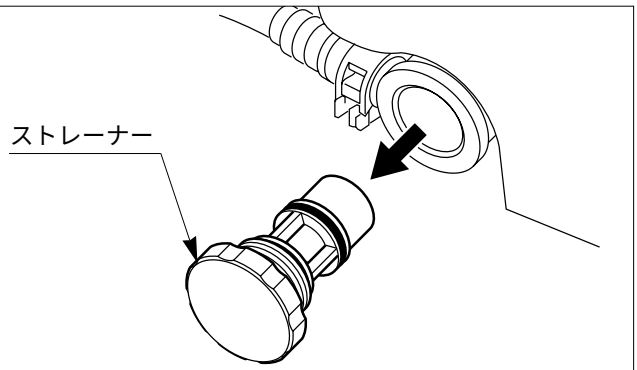


■脱臭カートリッジ



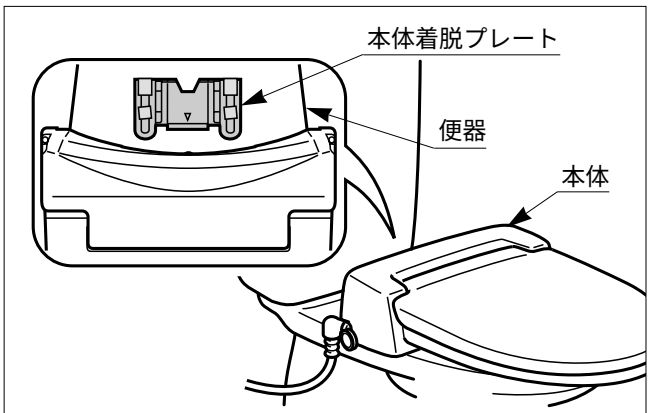
※ニオイを吸収・除去します。

■ストレーナー



※ 水道水内の異物を除去します。

■本体着脱プレート



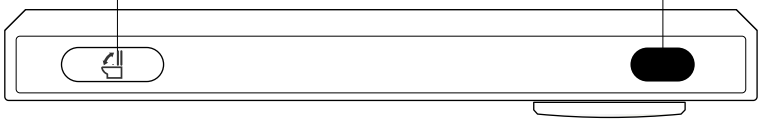
※ お手入れ時、本体を着脱するためのプレートです。

■リモコン　※機種によっては、一部機能（☆印付）がない場合があります。

■操作部上面

便座開/閉　★
便座を開閉するときに使用します。(☞16ページ)

送信部



■操作部

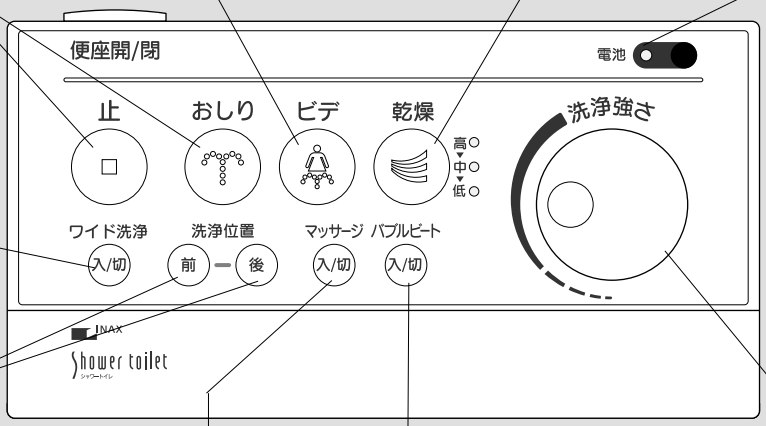
おしり
おしりを洗うときに使用します。(☞10ページ)

ビデ
ビデ洗浄のときに使用します。(☞10ページ)

乾燥
ぬれた部分を乾かすときに使用します。(☞13ページ)

電池ランプ
電池の寿命が近づくと点滅します。(☞34ページ)

止
●おしり洗浄●ビデ洗浄●乾燥の動作を止めます。ほのかライトを「入」にすると点滅表示します。



ワイド洗浄
ノズルが前後に動いて広い範囲を洗浄します。(☞11ページ)

洗浄位置
洗浄位置を調節します。(☞11ページ)

マッサージ
シャワーに強弱がつき、マッサージ感があります。(☞12ページ)

バブルビート
シャワーに空気の混入の入/切をします。(☞12ページ)

洗浄強さダイアル
おしり洗浄、ビデ洗浄の洗浄強さを調節します。(☞10ページ)

■副操作部（操作部下部のフタを開けます）

電源
シャワートイレ本体の電源を入/切します。(☞9ページ)

節電
便座と温水の温度を下げて節電します。(☞15ページ)

フルオート便座　★
人体を検知して自動的に便フタを開閉します。(☞16ページ)

温水
温水温度を調節します。(☞9ページ)

ノズルそうじ
ノズルの掃除に使用します。(☞17ページ)

照明
足下、便鉢内を照らします。(☞17ページ)

便座
暖房便座の温度を調節します。(☞9ページ)

※ 脱臭は、自動でファンが作動します。(☞14ページ)

安全上の注意（必ずお守りください。）

ご使用の前に、この「安全上の注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
ここに示した注意事項は、状況によって重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

用語および記号の説明

警告 ・・・・「取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負う危険な状態が生じることが想定されます。」

注意 ・・・・「取扱いを誤った場合に、使用者が軽傷を負うかまたは物的損害のみが発生する危険な状態が生じることが想定されます。」

・・・・「注意しなさい！」（上記の『警告』、『注意』と併用して注意をうながす記号です。必ずお読みになり、記載事項をお守りください。）

・・・・「してはいけません！」（一般的な禁止記号です。）

・・・・「分解してはいけません！」

・・・・「バスルームやシャワールームなどの水場で使用してはいけません！」

・・・・「指示した場所に触れてはいけません！」

・・・・「指示した場所に濡れた手で触れてはいけません！」

・・・・「火気を近づけてはいけません！」

・・・・「指示通りにしなさい！」（一般的な行動指示記号です。）

・・・・「漏電保護プラグをコンセントから抜きなさい！」

・・・・「アース線を接続しなさい！」

⚠警告

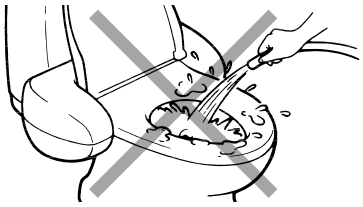
次のような方が使用されるときには、便座スイッチを「低」、または「切」にして周りの方が十分注意してあげてください。

お子様、お年寄り、病気の方、ご自分で温度調節のできない方、皮膚の弱い方、皮膚感覚の弱い方、睡眠薬など眠気を誘う薬を服用された方、深酒、疲労の激しい方

※ 長時間使用されますと、低温ヤケドをおこす恐れがあります。

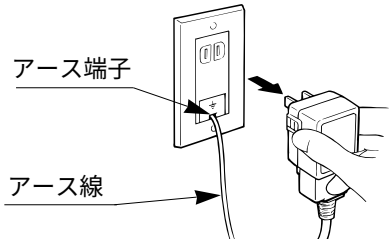
本体内に水や洗剤を入れないでください。本体や電源プラグ部に水をかけないでください。

※ 感電・火災の恐れがあります。



⚠警告

アースを確実に取り付けてください。
※ 故障や漏電のときに感電する恐れがあります。
※ コンセントにアース端子がない場合は、電気工事店にご相談ください。

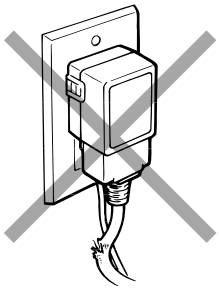


バスルーム内など湿気の多い場所には、設置しないでください。
※感電・火災の原因となります。

電源プラグに付着したほこりは定期的にふき取ってください。その際は電源プラグを抜き、乾いた布でふき取ってください。
※絶縁不良により火災の原因になります。

修理技術者以外の人は、絶対に分解したり修理・改造は行わないでください。
※ 感電・火災の原因や、異常作動してケガをすることがあります。

傷んだ電源プラグやコンセントの差し込みがゆるいときは使用しないでください。
※ 感電・火災の原因となります。



乾燥スイッチを「高」、「中」で長時間使用しないでください。
※長時間使用されますと、ヤケドの恐れがあります。

上水道以外に接続しないでください。
※ ぼうこう炎や皮膚の炎症、および機械内部の腐食により感電・火災を起こす恐れがあります。

濡れた手で、電源プラグを抜き差ししないでください。
※感電の原因になります。

⚠注意

プラスチック部のお手入れには、便座に使用できる洗剤以外(トイレ用洗剤、住宅用洗剤、漂白剤、ベンジン、シンナー、クレンザー、クレゾール)は使用しないでください。

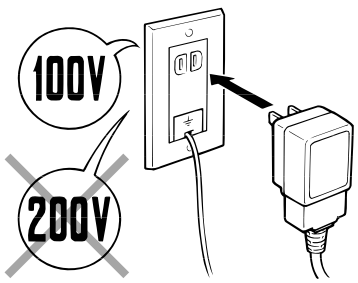
※ プラスチック部が割れてケガや感電・火災の原因となります。

便座や本体カバーが破損した場合、コンセントから電源プラグを抜いて修理を依頼してください。

※ そのまま使用すると感電・火災の原因となります。

交流１００V以外では使用しないでください。

※ 感電・火災の原因となります。

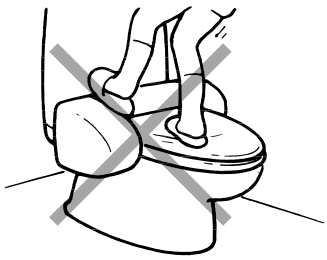


電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っぱったり、ねじったり、束ねたり、重いものを載せたり、挟み込んだりしないでください。

※ 電源コードが破損し、感電・火災の原因となります。

便フタや本体カバーの上に乗らないでください。

※ 破損してケガをすることがあります。



ストレーナーを外すときは、必ず止水栓を閉めてください。また、ストレーナーを取り付ける際は、すき間がないようにしっかり締めてください。

※漏水の原因になります。

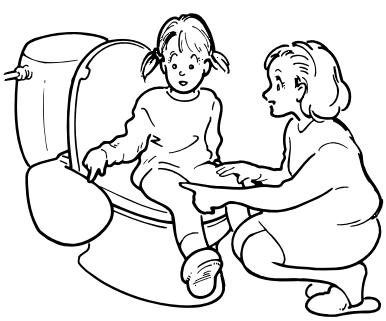
本体カバーや便座、便フタはプラスチック製です。タバコや灰皿などの火気類を近づけないでください。

※火災の原因となります。

脱臭カートリッジ取付口の奥に脱臭ファンがありますので、指や脱臭カートリッジ以外の物を入れないでください。

※ 指をケガしたり故障の原因になります。

小さなお子様や、お年寄り、身体の不自由な方が使用されるときは、間違った操作やあぶないことをしないように充分に注意してあげてください。



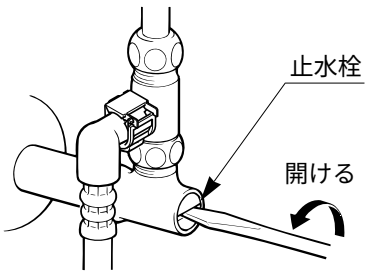
ご使用中に普段と異なった音や煙、ニオイなどがしたら、ただちに使用をやめて電源プラグをコンセントから抜き、お求めの取扱店または(株)INAXメンテナンスにご連絡ください。

お使いになる前に確認してください

シャワートイレを便器に設置し、はじめて使用される前に必ず下記の項目を確認してください。

1 止水栓が開いていることを確認します。

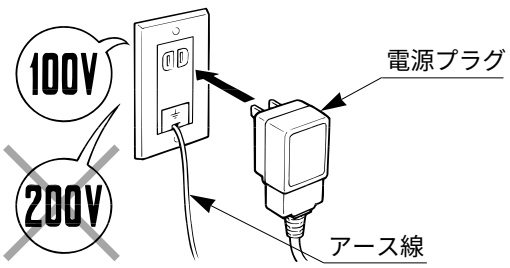
止水栓が閉まっている場合は、左に回して開けます。
開いている場合は調節してありますので、必ずもとの位置に戻してください。



2 電源プラグとアース線をコンセントに接続します。

1．アース線をコンセントのアース端子に接続します。

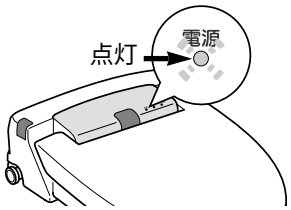
2．電源プラグを交流(ＡＣ)１００Ｖのコンセントに差し込みます。

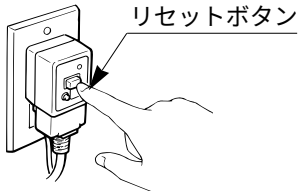


※このとき、動作準備のため、ノズルが一度出て戻ります。

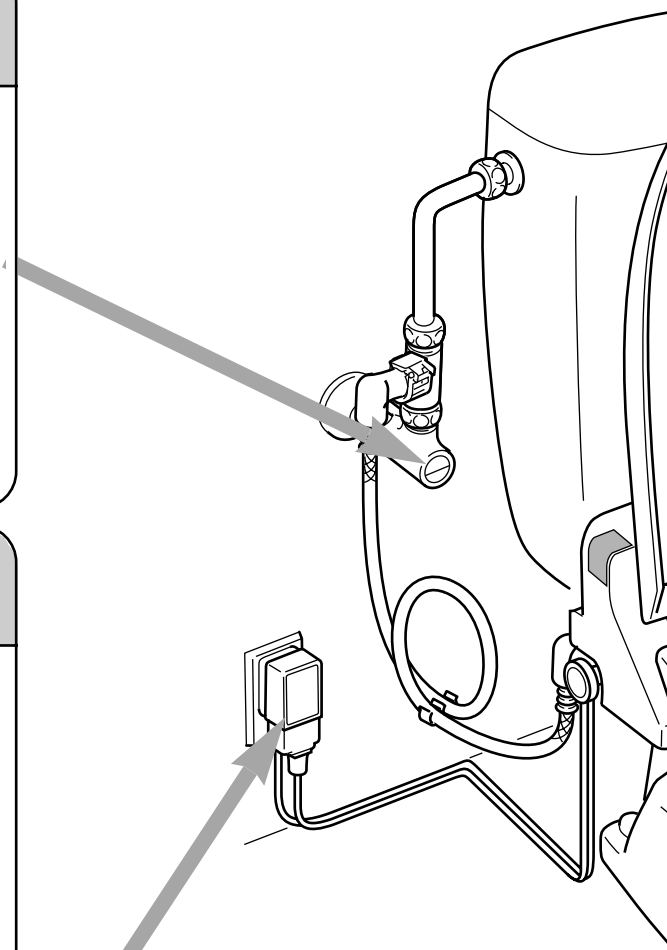
3．本体表示部の電源ランプが点灯していることを確認します。

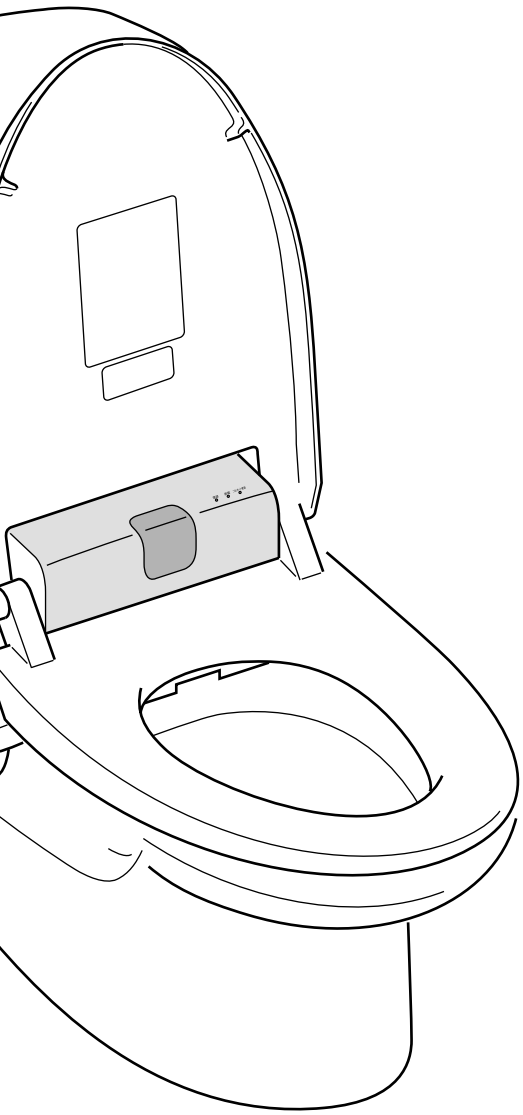
本体表示部の電源ランプ（緑）が点灯します。
もし、電源ランプが点灯しなかったら電源プラグのリセットボタンを押してください。





※電源プラグには、シャワートイレ内部で万一漏電が起こった場合、電気を遮断する安全装置が付いています。





3 おしり洗浄を確認します。

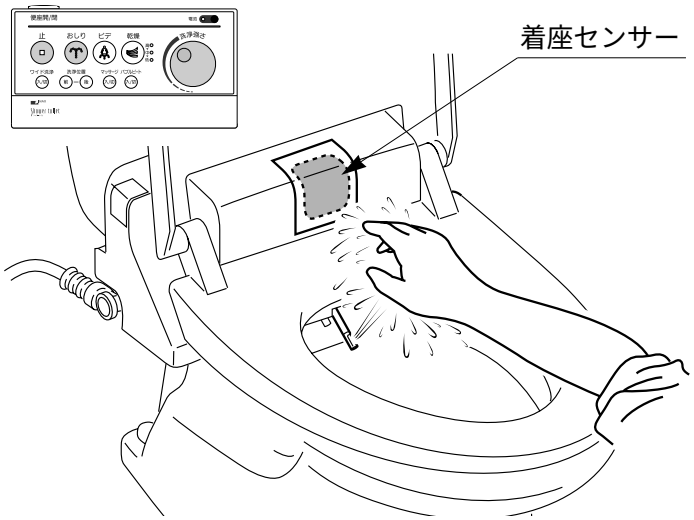
1．着座センサーが紙で覆われていることを確認してください。

※ 紙が貼っていない場合は、着座センサーを紙や布で覆ってください。

※ ノズル付近から水が出ます。
最初に水が出るのは構造上、必要な動作です。

2．おしりスイッチを押してください。

3．ノズルが伸びてきたら先端に手をかざしてシャワーを受け止めてください。



4．シャワーを止めるときは、止スイッチを押してください。

ご使用方法(9ページ以降)をご覧になって他の機能も確認してください。

5．着座センサー窓を覆っていた紙は、確認後、必ず取り去ってください。

※ 人が便座に座ったことを感知する**着座センサー**が付いています。おしり洗浄、ビデ洗浄、脱臭、乾燥は、着座していないと作動しません。

⚠ 警告

アースを確実に取り付けてください。

※ 故障や漏電のときに感電する恐れがあります。

※ コンセントにアース端子がない場合は、電気工事店にご相談ください。

⚠ 注意

交流１００V以外では使用しないでください。

※ 感電・火災の原因となります。

ご使用方法

《ご使用前に準備してください》

シャワートイレを使用する前に下記の操作をしますと、より快適にご使用になれます。

■電源（電源の入／切）

電源スイッチを押して電源の入／切をします。

※ 電源が入ると表示部の電源ランプが点灯します。

※ 電源プラグをコンセントに差し込むと自動的に電源は「入」の状態になります。

■温水（シャワーの温めかた）

温水スイッチでシャワーの温度を調節します。

スイッチは4段階（「高」、「中」、「低」、「切」）に切り替えできますので、お好みの温度に設定してください。

■便座（便座の暖めかた）

便座スイッチで便座の温度を調節します。

スイッチは4段階（「高」、「中」、「低」、「切」）に切り替えできますので、お好みの温度に設定してください。

※ 便座はすぐには暖まりません。あらかじめ使用する10～15分前にスイッチを入れておけば、快適にご使用できます。

参考

座ると自動的に便座ヒーターを切って、低温ヤケドをおこしにくくする“便座ヒーターオートOFF”機能が付いています。（☞18ページ参照）

⚠ 警告

次のような方が使用されるときには、着座後便座スイッチを「低」、または「切」にして周りの方が十分注意してあげてください。

お子様、お年寄り、病気の方、ご自分で温度調節のできない方、皮膚の弱い方、皮膚感覚の弱い方、睡眠薬など眠気を誘う薬を服用された方、深酒、疲労の激しい方

※ 長時間使用されますと、低温ヤケドをおこす恐れがあります。

《操作は簡単です》

■おしり洗浄

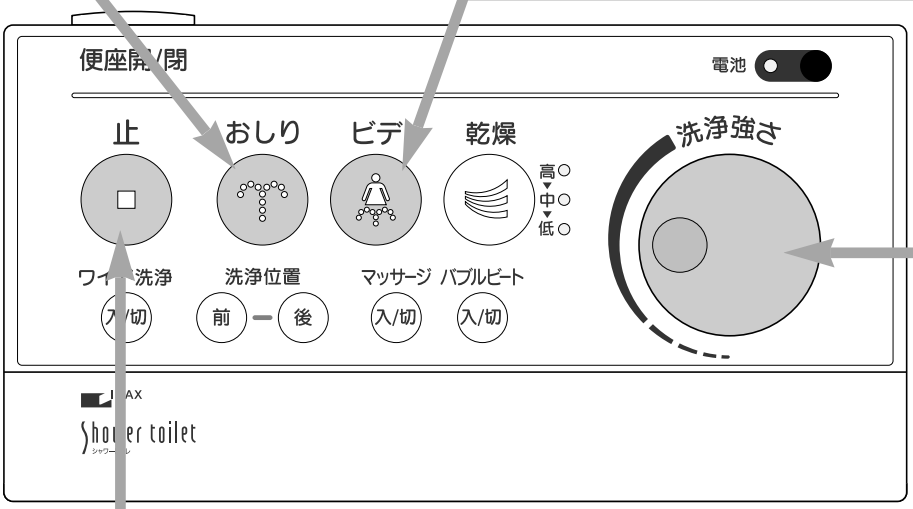
1 おしりスイッチを押します。

ノズルの先端からシャワーがでて、おしりを洗います。

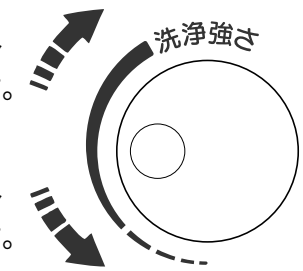
■ビデ洗浄

1 ビデスイッチを押します。

ノズルの先端からシャワーがでて、女性のデリケートな部分を洗います。



2 洗浄強さダイアルを回してシャワーの強さを調節します。



強くする場合
右に回します。

弱くする場合
左に回します。

3 止めるときは止スイッチを押します。

※ おしりおよびビデ洗浄は、2分後に自動的に停止するセルフストップ機構付です。

注意

- 水道圧が低いところでは、洗浄強さを弱くすると、シャワーがおしりに当たらないことがあります。このような場合は、洗浄強さを強くしてください。
- 便座には、深く腰掛けてください。
  深く腰掛けるとシャワーの飛び散りが少なくなります。

参考

洗浄強さを一番弱くしてもまだ強いと思われる方のために、シャワーを最弱にする機能が付いています。
(☞19ページ参照)

■ワイド洗浄

1 ワイド洗浄スイッチを押します。

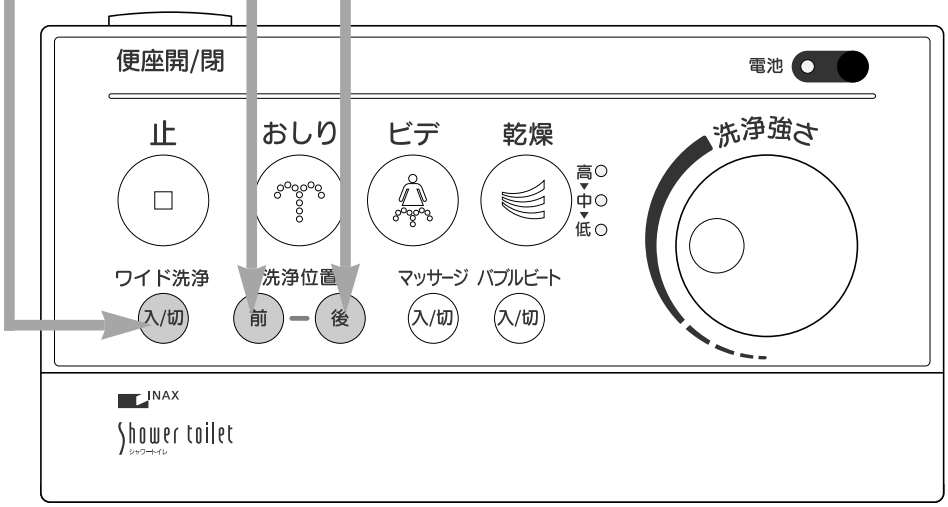
おしりまたはビデ洗浄中にノズルが前後に動いて広い範囲を洗浄します。

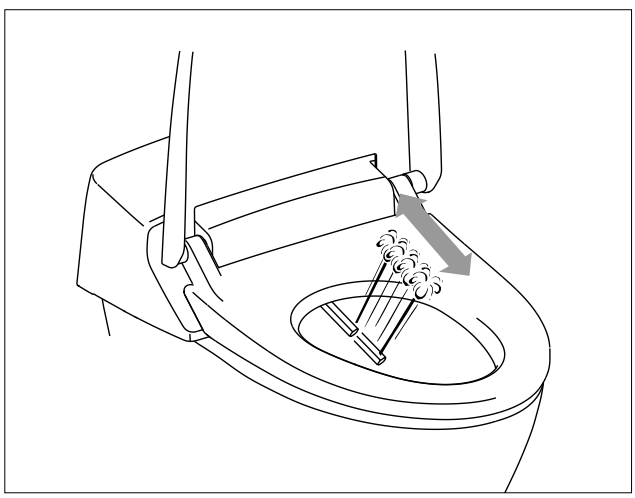
2 止めるときは、再びワイド洗浄スイッチを押します。

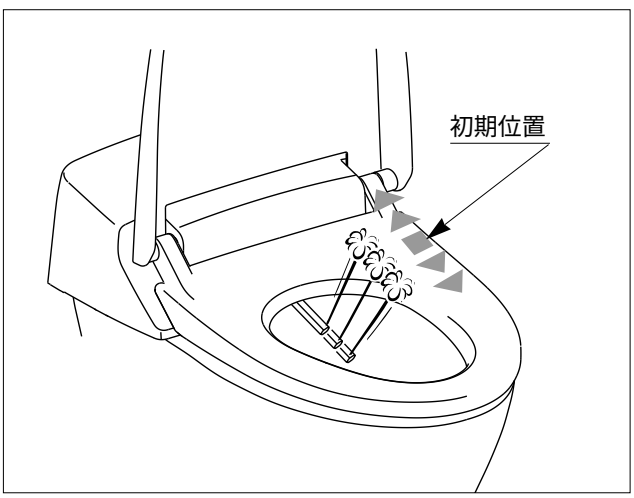
■洗浄位置の調節

洗浄位置の「前」または「後」スイッチを押します。

おしりまたはビデ洗浄中に洗浄位置を全5段階に調節することができます。







■マッサージ

1 おしり洗浄中にマッサージスイッチを押します。

おしりまたはビデ洗浄中に空気を断続的に混入させてマッサージ洗浄を行います。

2 止めるときは、再びマッサージスイッチを押します。

■バブルビート

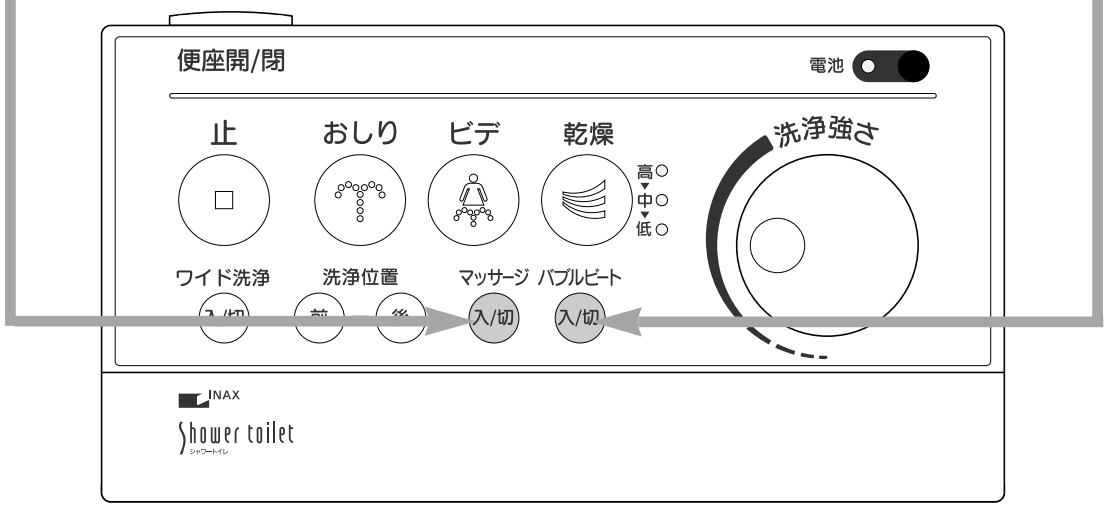
1 はじめは「入」の状態です。

シャワーに空気を混入させ、洗浄力を向上させます。

※ 電源プラグをコンセントに差し込んだ時は、自動的に「入」になります。

2 止めるときは、バブルビートスイッチを押します。

※ 再び「入」にするときは、再度バブルビートスイッチを押します。



■乾燥

1 乾燥スイッチを押します。

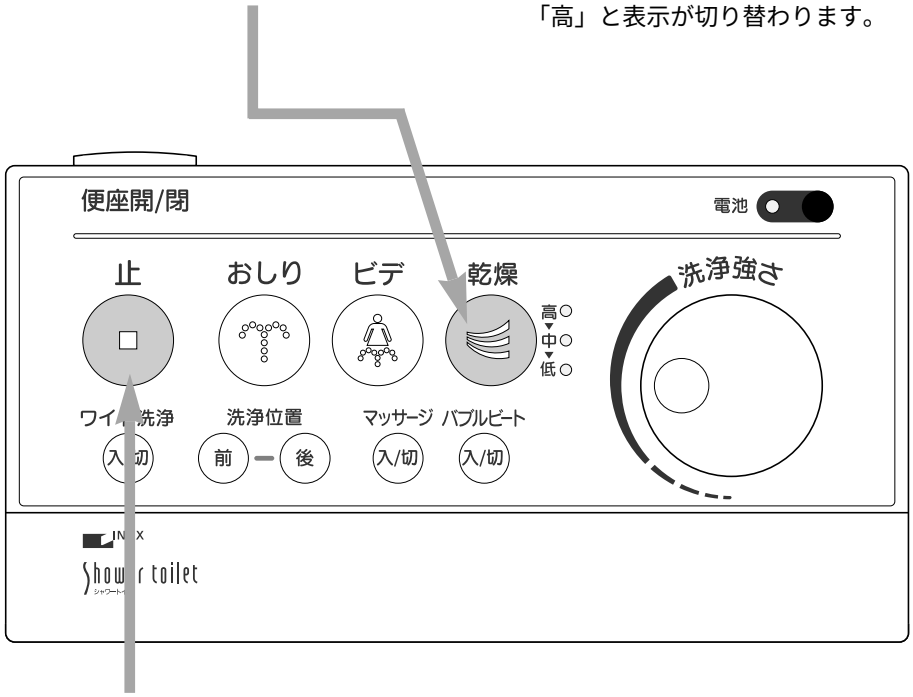
温風がでて、シャワーで濡れた部分を乾燥します。

※温風の温度は3段階に調節できます。

2 温風温度を変えるときは再度乾燥スイッチを押します。

スイッチを押すたびに表示ランプが切り替わりますのでお好みの温度に設定してください。

※ スイッチを押すごとに「高」から「中」→「低」→「高」と表示が切り替わります。



3 止めるときは止スイッチを押します。

※ 乾燥は、4分後に自動的に停止するセルフストップ機構付です。

⚠ 警告

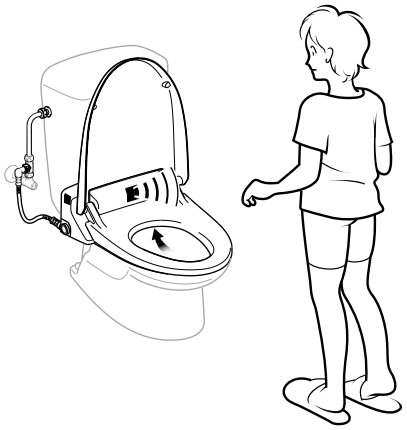
乾燥スイッチを「高」、「中」で長時間使用しないでください。
※長時間使用されますと、ヤケドの恐れがあります。

参考

- 洗浄後、トイレットペーパーで軽く水滴を取ってから乾燥スイッチを押せば、素早く乾燥できます。
- 温風温度が「高」から始まるパターンを「低」から始まるパターンに切り替える“温風「低」始動”機能が付いています。(☞18ページ参照)

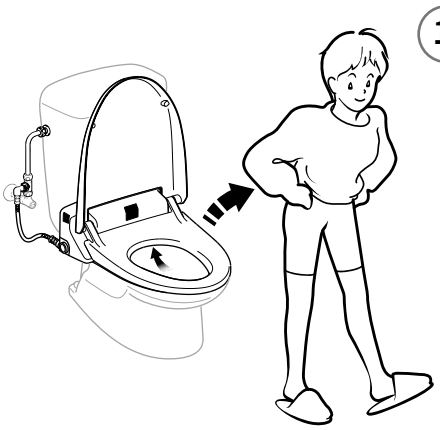
■脱臭

1 **便座の前に立つと脱臭を始めます。**



※ 着座時以外は、脱臭ファン能力を上げてより広い範囲のニオイを吸い込んで除去します。

2 **便座から立ち上がると約1分後に停止します。**



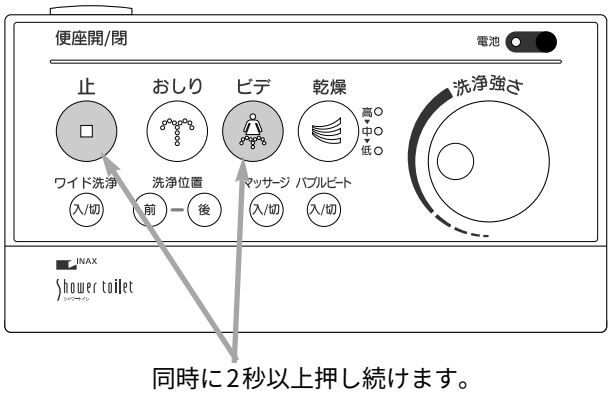
※ シャワートイレ本体にニオイを吸収する脱臭カートリッジが装着されています。（☞26ページ）

■脱臭を使用しない場合

●操作方法

止スイッチとビデスイッチを同時に2秒以上押し続けます。
（セット完了時、表示部の電源ランプが一瞬点滅します。）
人が近づいても脱臭ファンは作動しません。

再び、使用する場合も止スイッチとビデスイッチを同時に2秒以上押し続けます。



同時に2秒以上押し続けます。

■節電

節電機能には、**スーパー節電**と**節電切タイマー**の2種類があります。
スーパー節電とは、トイレ使用時（便フタ開状態）以外は、便座の温度を下げて、消費電力を抑える節電です。
節電切タイマーとは、長時間使用しない夜間など6時間、便座のヒーターを切にして消費電力を抑える節電です。スーパー節電と併用することで、さらに効果的な節電が行えます。

スーパー節電（常時）

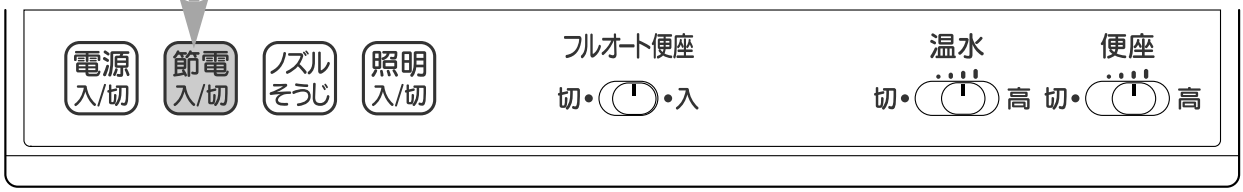
1 節電スイッチを2秒以上押し続けます。（表示ランプ点滅下記参照）

設定を解除するまで節電を続け、トイレ使用時には便座温度を設定状態に戻します。

節電切タイマー（6時間）

1 節電スイッチを押します。（表示ランプ点滅下記参照）

押してから6時間、便座ヒーターへの通電を停止します。6時間後、便座温度を設定状態に戻します。



※ 便フタが閉じている間は常に節電しています。節電の表示ランプは、0.5秒間隔で2回づつ点滅します。

※ 便フタが開いている間は、節電されません。(表示ランプ点灯)

※ 節電切タイマーが作動しているときは、節電の表示ランプが0.5秒間隔で1回づつ点滅します。

※ 6時間経過すると、自動的に機能はもとの状態に戻り、節電ランプは点滅から消灯に切り替わります。

※ 節電切タイマーは1日に、何度でも設定できます。

2 使用しないときは、再び節電スイッチを2秒以上押し続けます。（表示ランプ消灯）

※ 節電切タイマー作動中は、スーパー節電の設定・解除ができません。

2 使用しないときは、再び節電スイッチを押します。（表示ランプ消灯）

※ 節電時は便座の温度を下げているため、冷たいと感じる場合があります。その際は節電を解除してください。

※ 節電スイッチを切っている状態でも便フタを閉じておくと節電に効果的です。

■フルオート便座（便フタ・便座電動開閉）

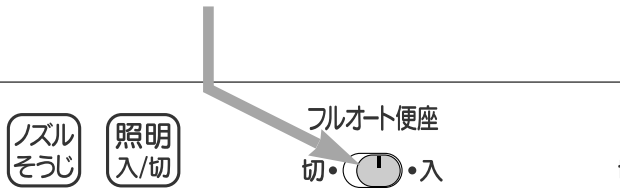
※機種によっては、この機能がない場合があります。

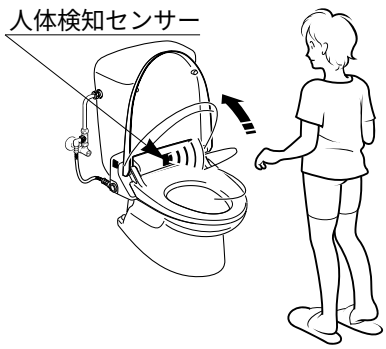
ノンタッチ開閉

1 フルオート便座スイッチを「入」にします。

便器の前に立つと便フタが自動で開きます。
便器から離れると約1分後に閉まります。

※ 人を検知すると本体表示部部のフルオート便座表示ランプが緑から赤色に変わります。



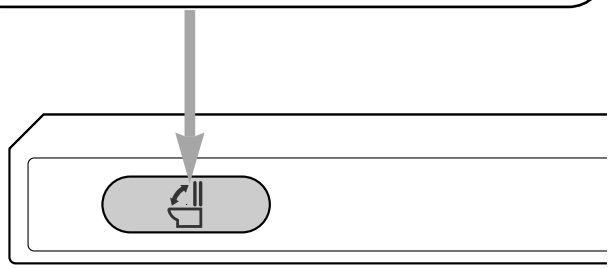


2 使用しないときは、フルオート便座スイッチを「切」にします。

便座電動開閉

1 便座開/閉スイッチを押します。

便座が開きます。



2 便座を閉めるときは、再び便座開/閉スイッチを押します。

※ フルオート便座スイッチを「入」にしておくと便器から離れて約1分後に便座・便フタが閉まります。

※ 人体検知センサーと着座センサーで人を検知して、便フタを自動的に開閉します。

※ 小さなお子様が使用するときは、フルオート便座スイッチを「切」にしてください。
小さなお子様の場合、着座センサーが検知することができず、使用中に便フタが閉じてくることがまれにあります。

●便フタおよび便座にカバーを取り付ける場合、当社の電動開閉専用の便フタカバー、シートカバーをご使用ください。（☞43ページ参照）他社製品や不適切なカバーをご使用の場合は、便座や便フタが電動で開かなかったり、不具合が生じる場合があります。

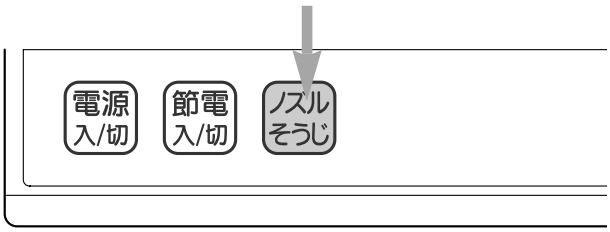
●シャワートイレ便座昇降装置「おしリフト」とセットの場合、フルオート便座はご使用になれません。

■ノズルそうじ

自動でそうじする場合

ノズルそうじスイッチを押します。

ノズルが本体に収納されたまま約15秒間洗浄します。このときノズル付近から水が出て、ノズルを洗います。



※ このシャワートイレはオートクリーニング機能付で、おしり・ビデ洗浄後、自動的にノズルを洗います。

歯ブラシ等でそうじする場合

1 ノズルそうじスイッチを押します。

※ ノズル付近から水が出ます。

2 15秒以内におしりまたはビデスイッチを押します。

押したほうのノズルが前に出てきます。

3 歯ブラシ等でノズルを掃除します。

4 ノズルを戻すときは、止スイッチを押します。

注意

ノズルを無理矢理手で引っぱり出さないでください。
※ 故障の原因になります。
もし、誤って引っぱり出した場合は、電源プラグをコンセントから抜き、30秒ほど待ってから再び、電源プラグを差し込んでください。

■ほのかライト

1 照明スイッチを「入」にします。

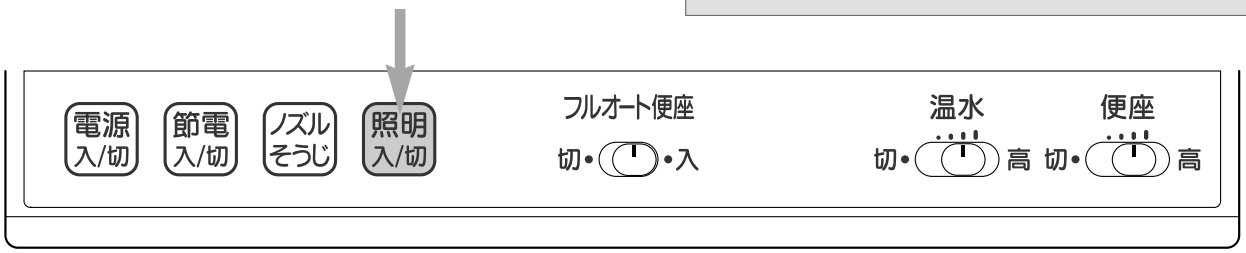
人を検知すると足下と便鉢内をほのかに照らします。

※ 「入」にすると、止スイッチのランプが点滅します。
※ 人を検知しなくなると、自動的に消灯します。

2 消灯するとき、または使用しないときは、再び照明入/切スイッチを押します。

注意

照明はあくまでも補助的なものです。使用するときは必ずトイレ内の電灯を点けてください。



■ちょっと便利な機能

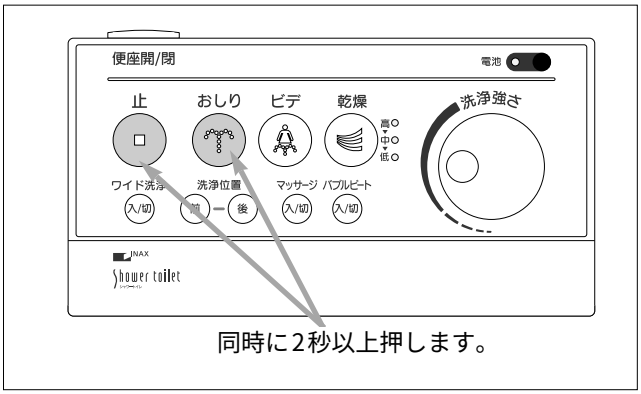
便座ヒーターオートOFFについて

座ると自動的に便座ヒーターを切って、低温ヤケドをおこしにくくする機能が付いています。
下記の要領でセットしてください。

■セットおよび解除方法

●止スイッチとおしりスイッチを同時に2秒以上押し続けます。
（セット完了時、電源ランプが一瞬点滅します。）
●解除も同じ方法で行います。

※ 便座ヒーターは、立ち上がると自動的に復帰します。



同時に2秒以上押します。

温風「低」始動について

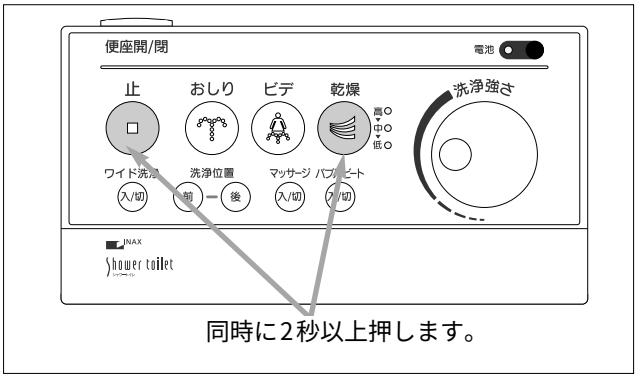
注意

この機能は、リモコンの電池を交換したときに解除されます。
このような場合は、再セットしてください。

温風温度を「低」から始まるようにすることができます。
お年寄り、身体の不自由な方、温度感覚のない方に便利です。下記の要領でセットしてください。

■セットおよび解除方法

●止スイッチと乾燥スイッチを同時に2秒以上押し続けます。
●解除も同じ方法で行います。



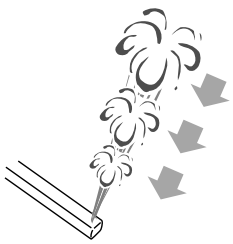
同時に2秒以上押します。

洗浄強さをさらに弱くしたい方のために

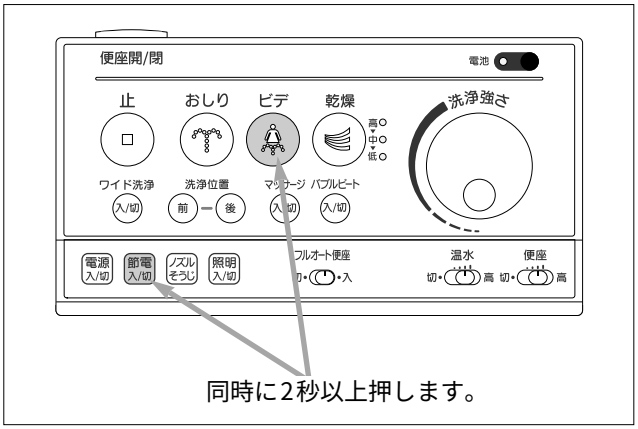
おしり洗浄・ビデ洗浄を「最弱」にしてもまだ強いと思われる方は下記のように調節してください。

■セットおよび解除方法

●ビデスイッチと節電スイッチを同時に2秒以上押し続けます。
電源ランプが一瞬点滅して洗浄強さが弱くなります。
最弱の設定はさらに4段階ありますので、お好みの強さに調節してください。



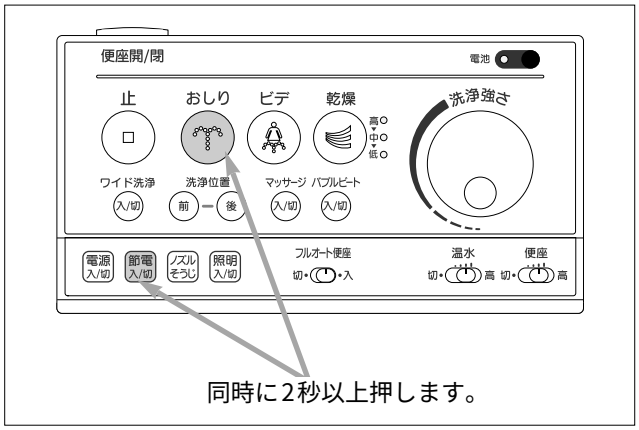
押すたびに洗浄強さが1段階ずつ弱くなります。



同時に2秒以上押します。

※ 水圧の低い所では、最弱の設定にするとシャワーが届かないことがありますので、ご注意ください。

●元に戻す場合は、おしりスイッチと節電スイッチを同時に2秒以上押し続けます。
電源ランプが一瞬点滅して、1段階づつ戻ります。



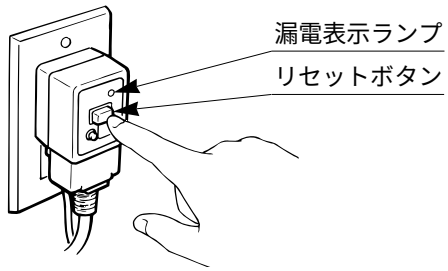
同時に2秒以上押します。

《知っておいていただきたいこと》

漏電表示ランプが点灯したとき

本体内部で漏電が発生すると、事故防止のために各機能を停止させ、電源プラグの「漏電」表示ランプを点灯させます。

※ 漏電表示ランプが点灯したときは、電源プラグをコンセントから抜き、しばらく間をおいて、再び差し込み、リセットボタンを押してください。それでもランプが点灯するようであれば、電源プラグをコンセントから抜き、お求めの取扱店または(株)INAXメンテナンスへご連絡ください。



冬期、シャワーについて

給水温度がきわめて低い冬期など、シャワーの強さが多少弱くなることがあります。

フルオート便座について〈電動開閉付の場合〉

人が便器の前に立ったことを検知して、便フタを自動的に開閉するための人体検知センサーが付いています。
便器のすぐ前に立つと検知しますが、便器の斜め前や離れて立つと検知できずに便フタが開かないことがあります。

ノズルの付近から出る水は？

便座に座った直後と洗浄中は、ノズル付近から水がでます。これは構造上、必要なもので故障ではありません。

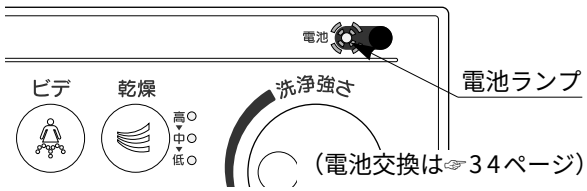
※上記以外のときいつまでも水が止まらない場合は、止水栓を閉め、電源プラグをコンセントから抜き、お求めの取扱店または(株)INAXメンテナンスへご連絡ください。

はじめの頃、温風が少し臭うかもしれません。

新しいうちは、温風が少し臭うことがありますが、ご使用とともに消えます。

リモコンについて

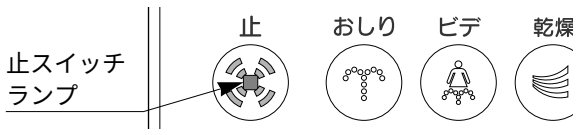
電池の寿命が近づくと、リモコンの電池ランプが消灯から点滅に替わります。
お早めに新しい電池に交換してください。



（電池交換は☞34ページ）

止スイッチランプについて

ほのかライトを「入」にすると、リモコンの止スイッチのランプが点滅します。



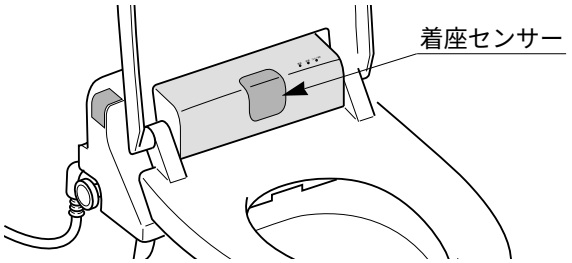
ゆっくり閉じる便座・便フタ。

便座・便フタには、あやまって倒したときなどの衝撃をやわらげるため、ゆっくりと閉じるようにスローダウン機構が装備されています。

※ 強引に閉じると故障の原因になることがありますのでご注意ください。

着座センサーが付いています。

人が座っていないときに誤ってスイッチを押してもシャワーが噴出しないよう、着座センサーが付いています。したがって便座に座らないとおしり洗浄、ビデ洗浄、乾燥の各機能がはたらきません。



着座センサーは光の反射を利用しているため、次のような場合に作動しないことがあります。

- **前にかがんだり、前寄りに座った場合**
  ※ 便座に深めに座る等、座り方を変えてみてください。
- **黒色や毛羽立った布地などの光が反射しにくい衣服を着ている場合**
  ※ センサーに手をかざす等、肌を検知させるようにしてください。
- **センサーに汚れや水滴が付着している場合**
  ※ 汚れや水滴等を取り除いてください。

洗浄強さダイアルが最弱付近ではノズルが出ない、と思ったら。

このシャワートイレは、水道圧によってシャワーを噴出する構造となっています。
水道圧が低いところでは、洗浄強さダイアルが最弱付近にあると、シャワーが届かないことがあります。
このようなときは、洗浄強さを強くしてください。
(☞10ページ)

省エネについて

省エネのためには、以下の項目が有効です。

- 使用後は便フタを閉じておきましょう。
- 便座カバーを取り付けると、省エネに有効です。
  ※ ただし、指定のカバーを使用し、こまめにカバーを洗濯して清潔さを保ってください。
- 便座や温水の設定はむやみに高温にせず、快適さを損なわない程度に調節しましょう。
- 春夏秋冬、気温に合わせてこまめに温度設定を行いましょう。
- 節電機能のあるものはできるだけ利用しましょう。
- 長時間の外出時など、不在時はこまめに電源を切っておきましょう。
  ※ 凍結破損の恐れがある場合は凍結防止方法を実施してください。(☞36、37ページ)

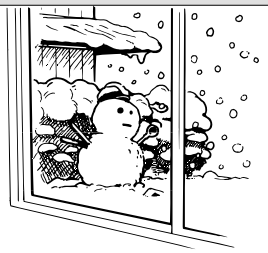
ラジオやテレビに雑音が入ったら。

シャワートイレにラジオやテレビを近づけると、雑音が入ることがあります。
このような場合は、雑音が入らない位置までラジオやテレビを離して使用してください。

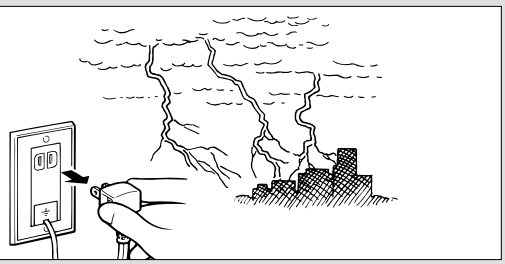
お取り扱い上の注意

■故障を起こさないために守ってください。

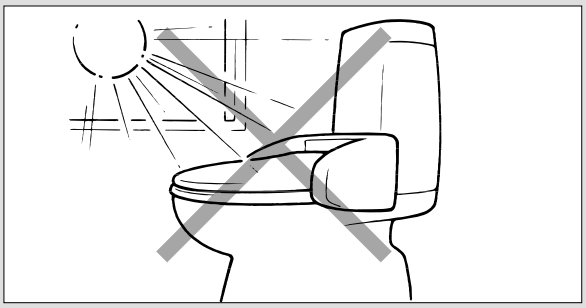
凍結の恐れがあるような夜間は、凍結による破損を防止するために凍結防止方法を実施してください。（☞36、37ページ）



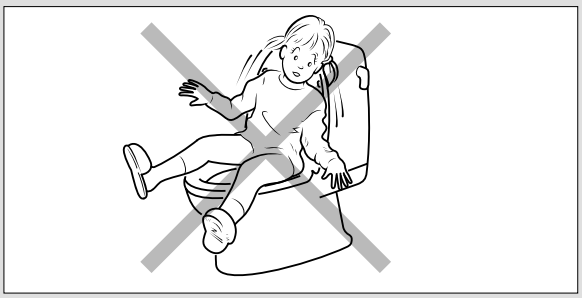
雷が近くで発生しているときは、電源プラグをコンセントから抜いてください。
※**事故や故障**につながる場合があります。



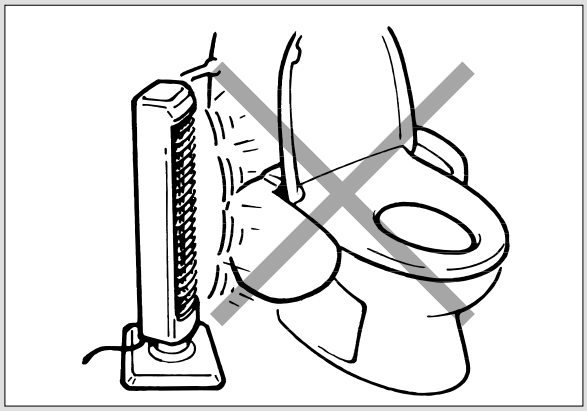
直射日光が当たらないようにしてください。
※樹脂部が変色することがあります。



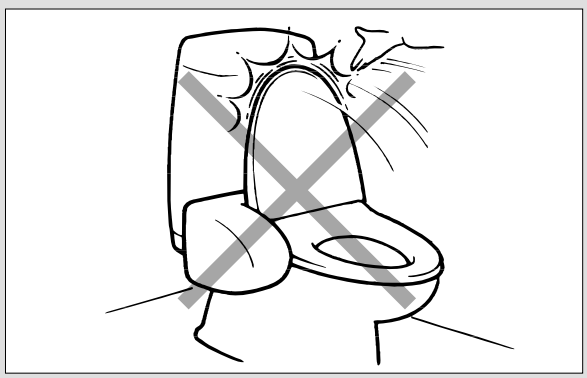
便フタにもたれないでください。
※**破損の原因**になります。



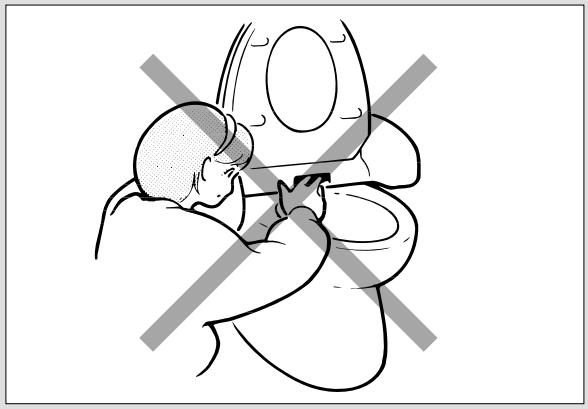
シャワートイレ本体にストーブやヒーターなどを近付けすぎないでください。
※**変色や故障の原因**になります。



便フタおよび便座の開閉は乱暴に行わないでください。
※割れたり**漏電など故障の原因**となることがあります。



絶対に温風吹出口をふさがないでください。
※**故障の原因**になることがあります。



お手入れ方法

《日頃のお手入れ》

注意

お手入れをするときは、必ず電源スイッチを押して、本体表示部の電源ランプが消灯していることを確認してください。

本体のお手入れのしかた（プラスチック部）

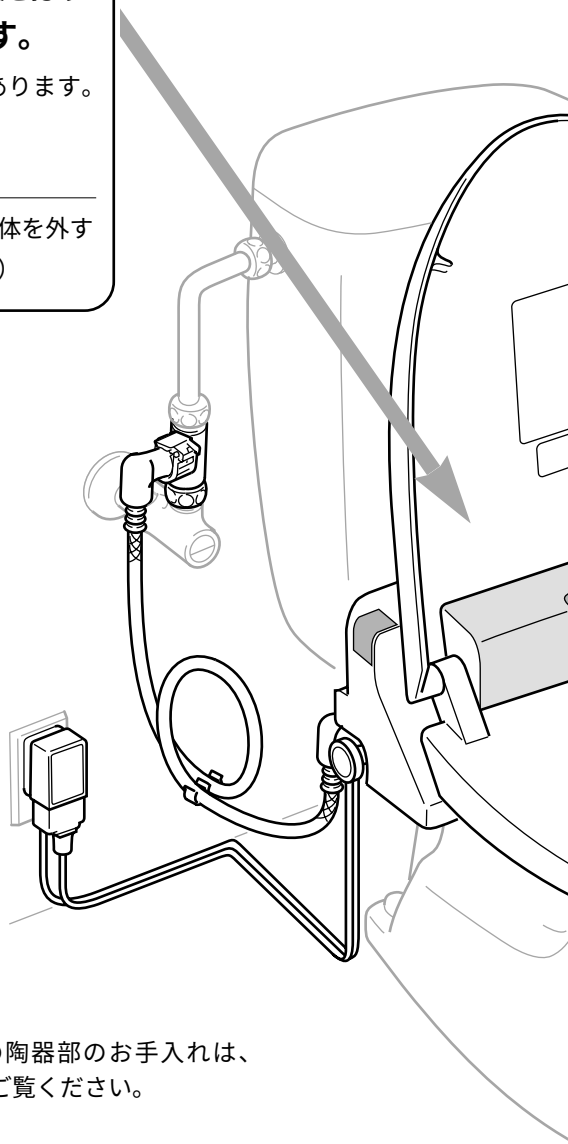
●柔らかい布で水ぶきをしてください。

汚れは放っておくと落ちにくくなりますので、こまめに水ぶきをしましょう。
また、水ぶきは静電気を防ぎます。静電気はホコリを引き寄せ、黒く汚れる原因になります。

●お手入れにはINAX純正のトイレ用おそうじティッシュまたはシャワートイレお掃除クリーナー（別売品）をおすすめします。

市販の便座用おそうじティッシュが使用できますが、中には適さない製品があります。
ご不明な点は洗剤メーカーに確認してから使用してください。
別売品の購入方法については43ページをご覧ください。

※ このシャワートイレは、便フタが簡単に外せます。（☞25ページ参照）また、本体を外すことができますので、便器と本体の間も楽に掃除ができます。（☞27ページ参照）



⚠ 警告

電源プラグに付着したほこりは定期的にふき取ってください。その際は電源プラグを抜き、乾いた布でふき取ってください。
※絶縁不良により火災の原因になります。

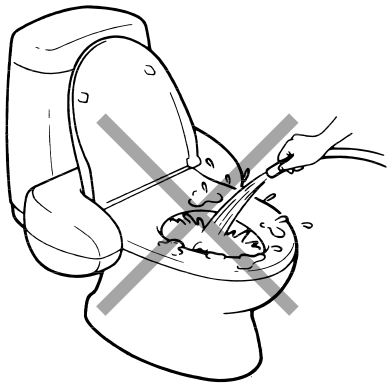
参考

便器やタンクなどの陶器部のお手入れは、便器の取扱説明書をご覧ください。

⚠ 警告

本体内に水や洗剤を入れないでください。本体や電源プラグ部に水をかけないでください。

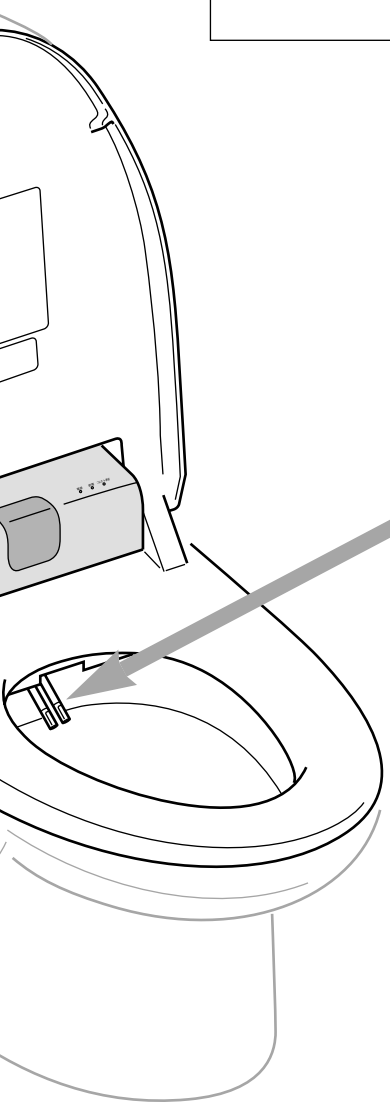
※ 感電・火災の恐れがあります。



⚠ 注意

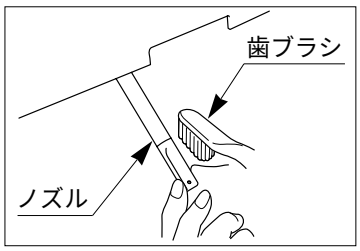
プラスチック部のお手入れには、便座に使用できる洗剤以外(トイレ用洗剤、住宅用洗剤、漂白剤、ベンジン、シンナー、クレンザー、クレゾール)は使用しないでください。

※ プラスチック部が割れてケガや感電・火災の原因となります。



ノズルのお手入れのしかた

ノズルそうじスイッチを押して自動でそうじしたり、頑固な汚れにはノズルを自動で引き出しておいて、歯ブラシ等でそうじすることができます。(☞17ページ参照)



注意

ノズルを無理矢理手で引っぱり出さないでください。

※ 故障の原因になります。
もし、誤って引っぱり出した場合は、電源プラグをコンセントから抜き、30秒ほど待ってから再び、電源プラグを差し込んでください。

抗菌部位について

ノズル・便座・便フタ・カバーに抗菌プラスチックを、リモコンのスイッチシートには抗菌シートを採用しています。

KILAMIC抗菌商品について

- KILAMIC抗菌商品は、商品表面の細菌の繁殖を抑える効果を持ちますが、ホコリ・油膜等が表面を覆った場合には、十分な抗菌効果を発揮できないことがあります。
- KILAMIC抗菌商品は、商品表面の細菌の繁殖を抑える効果を持ちますが、細菌が全くなくなるわけではありません。従って感染等が防げるわけではありません。
- 抗菌製品技術協議会の抗菌製品規格SIAA*に適合した製品です。

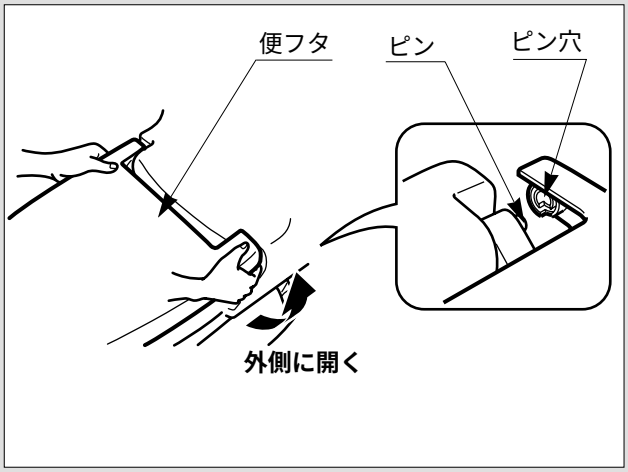
＊： SIAAマークは、抗菌製品技術協議会の「安全性と抗菌性能などのガイドライン」に沿って品質管理された製品に表示されるマークであり、情報公開されています。

《便フタを外して掃除します》

注意 **必ず電源スイッチを押して本体操作部の電源ランプが消灯していることを確認してください。**

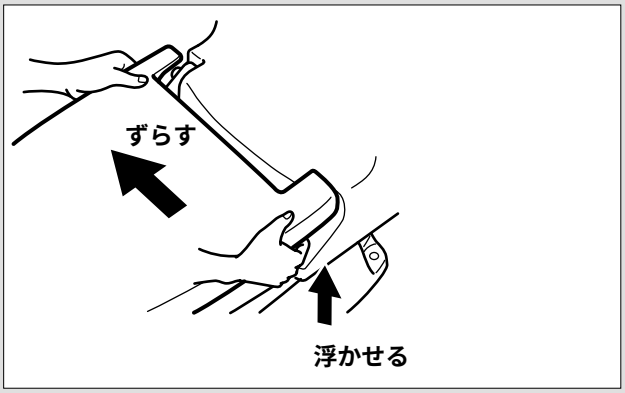
便フタの外しかた

1. 便フタ右側のピン穴を外側に開いて、ピンから外します。



2. 便フタの右側を浮かせながら左側にずらし、便フタを外します。

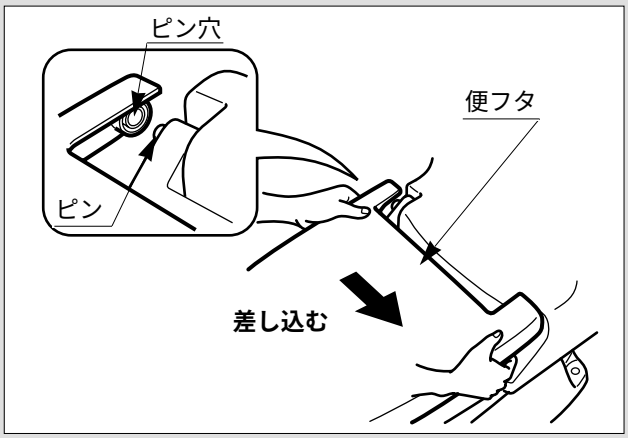
注意 **強引に外そうとすると割れるなど破損の原因となります。**



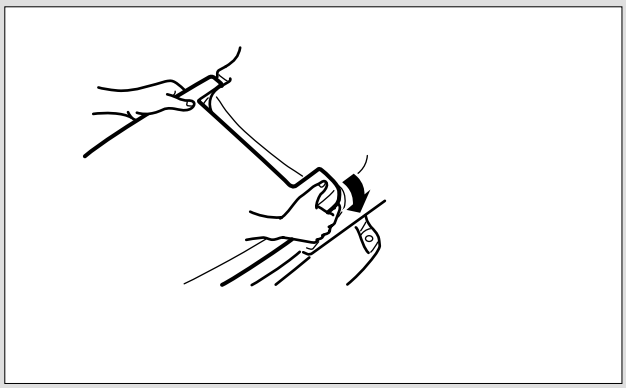
注意 **便フタを外したまま使用しないでください。**
※便フタを閉じた状態で外し、使用した場合は、おしり洗浄、ビデ洗浄、脱臭、乾燥の各機能が作動しません。

便フタの組み付けかた

1. 便フタ左側のピン穴と本体左側のピンを合わせて差し込みます。



2. 便フタ右側のピン穴を外側に開き、ピン穴とピンを合わせて、便フタを取り付けます。



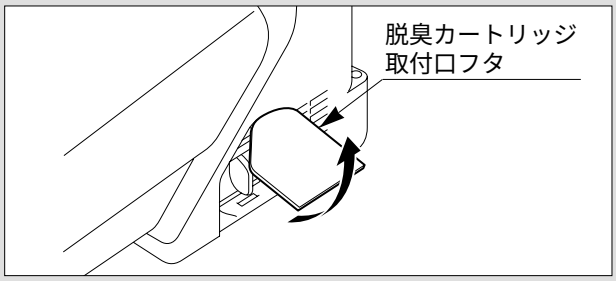
お手入れのあとは、電源スイッチを押して本体表示部の電源ランプが点灯することを確認してください。

《脱臭効果が弱くなった場合》

脱臭カートリッジにホコリ等が付着すると十分な脱臭ができなくなります。ニオイが気になりだしたら、清掃してください。

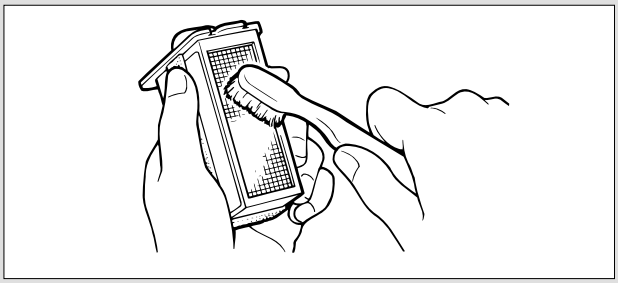
脱臭カートリッジのお手入れ方法

1. 脱臭カートリッジ取付口のフタを外します。



2. 脱臭カートリッジを引き抜きます。

3. フィルターのホコリ等を歯ブラシなどで取り除きます。



注意

脱臭カートリッジ本体は水洗いできませんのでご注意ください。

4. 日付ラベルを上にして脱臭カートリッジを取付口に差し込み、フタを取り付けます。

■脱臭カートリッジのお取り替えについて

清掃してもまだニオイが気になる場合、脱臭カートリッジの寿命ですので、新品と交換してください。
脱臭カートリッジの寿命は、通常使用で約7年です。

※ 脱臭カートリッジの寿命は、4人家族（男性2人、女性2人）の平均使用時間を基本としています。

まずシャワートイレ使用開始日を右の日付記入欄に記入し、脱臭カートリッジ交換の目安としてください。
次回脱臭カートリッジを交換する場合は、脱臭カートリッジにある日付ラベルに使用開始日を記入してください。

シャワートイレ使用開始日をご記入ください。

年　　月　　日

※ お取替用の脱臭カートリッジのお求めは、41ページ“ 別売品の購入方法 ”をご覧ください。

⚠ 注意

脱臭カートリッジ取付口の奥に脱臭ファンがありますので、
指や脱臭カートリッジ以外の物を入れないでください。
※ 指をケガしたり故障の原因になります。

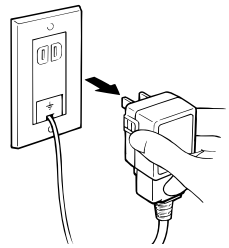
《本体を外して掃除します》

〈本体スライド着脱の仕方〉

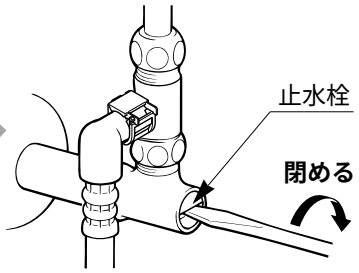
※分岐金具と本体の給水接続が、本体給水ホースではなく接続銅管による接続の場合は、本体を外して掃除することはできません。

1．本体の外しかた

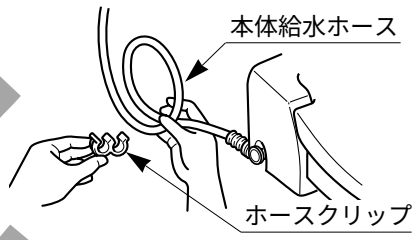
1. 電源プラグをコンセントから抜きます。（注意1.参照）



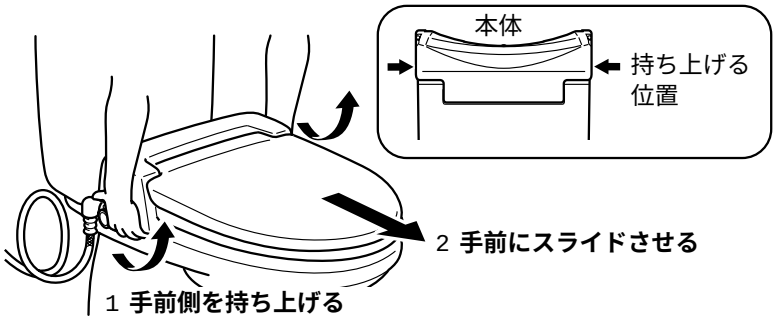
2. 止水栓を閉めて給水を止めます。（注意2.参照）



3. ホースクリップが付いている場合は、本体給水ホースからホースクリップを外します。

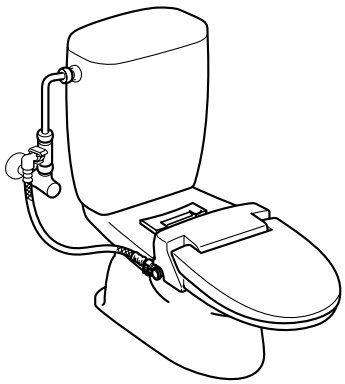


4. 本体の手前側を持ち上げ、手前にスライドさせて、本体を便器から外します。



※外すときは、ゆっくりスライドさせてください。また、無理にこじないでください。

5. 本体を便器リム部に静かに置きます。（注意3.、4.、5.参照）



お手入れ方法

注意

1.電源プラグを必ずコンセントから抜いてください。
※故障の原因になることがあります。

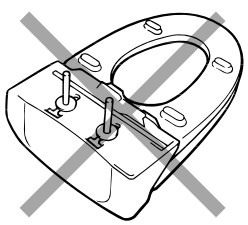
2.止水栓は調整してありますので、元の位置（どのくらい回したか）を覚えておいてください。

3.コード類や本体給水ホースを引っぱらないでください。
※破損や漏水の恐れがあります。

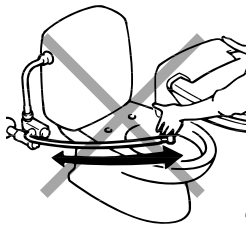
4.本体の取外し時や清掃時には、ていねいに扱ってください。
※漏水・故障の原因となります。

5.本体は、絶対に裏返さないでください。また床に置かないでください。
※故障の原因になります。

●裏返さないで！
●床に置かないで！



●引っぱらないで！



2．掃除のしかた

●本体の掃除は、柔らかい布で水ぶきしてください。

※ 便器の掃除は、便器の取扱説明書にしたがってください。

⚠ 警告

本体内に水や洗剤を入れないでください。本体や電源プラグ部に水をかけないでください。

※ 感電・火災の恐れがあります。

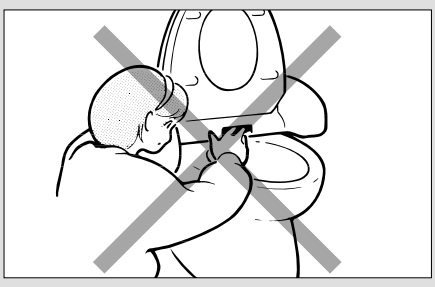
注意

●便器を掃除しているとき、洗剤が本体にかからないように注意してください。また、便器に洗剤が残らないように水拭きしてから本体を取り付けてください。

※ 洗剤が本体に付着すると故障の原因になります。

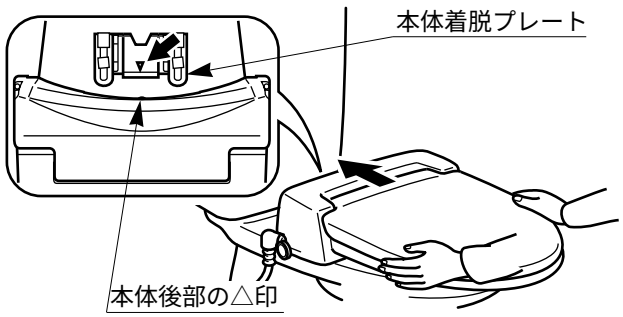
●温風口やノズル付近に手や物を突っ込まないでください。

※ 手をケガしたり、故障の原因になります。



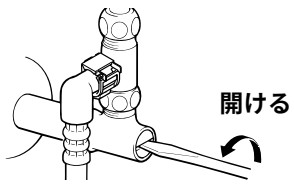
3．本体の組付けかた

1. シャワートイレ本体を便器の上に置き、本体着脱プレートの▽印と本体背面部にある△印を合わせます。



2. 本体をゆっくりと、奥に突き当たるまで押し込みます。
このとき、着脱プレートが本体をロックしますので、必ず本体をかるく前後左右に引っぱるなどして、確実にロックしていることを確認します。

3. 止水栓を開いて、給水します。
※ 各部に漏水がないか確認します。



4. ホースクリップが付いていた場合は、本体給水ホースを丸めてホースクリップで固定します。（注意参照）

5. 電源プラグをコンセントに差し込みます。
このとき電源ランプが点灯することを確認します。
※ 動作準備のため、ノズルが一度出て戻ります。

6. 取付けが完了したら**必ず試運転を行ってください。**
（☞7、8ページ）

注意

●本体が確実に固定されていることを確認してください。

※ 固定が不十分ですと便器から本体がはずれることがあります。

●ホース類を無理に曲げないでください。

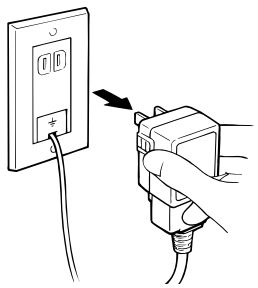
※ つぶれて元に戻らなくなったり、給水しなくなります。

〈本体全部の外し方〉

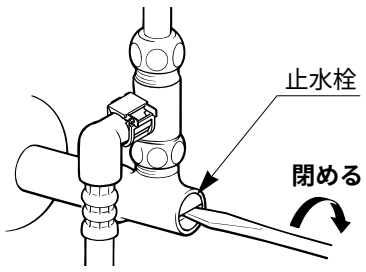
※細かいところまでしっかりと掃除したい時に便利です。

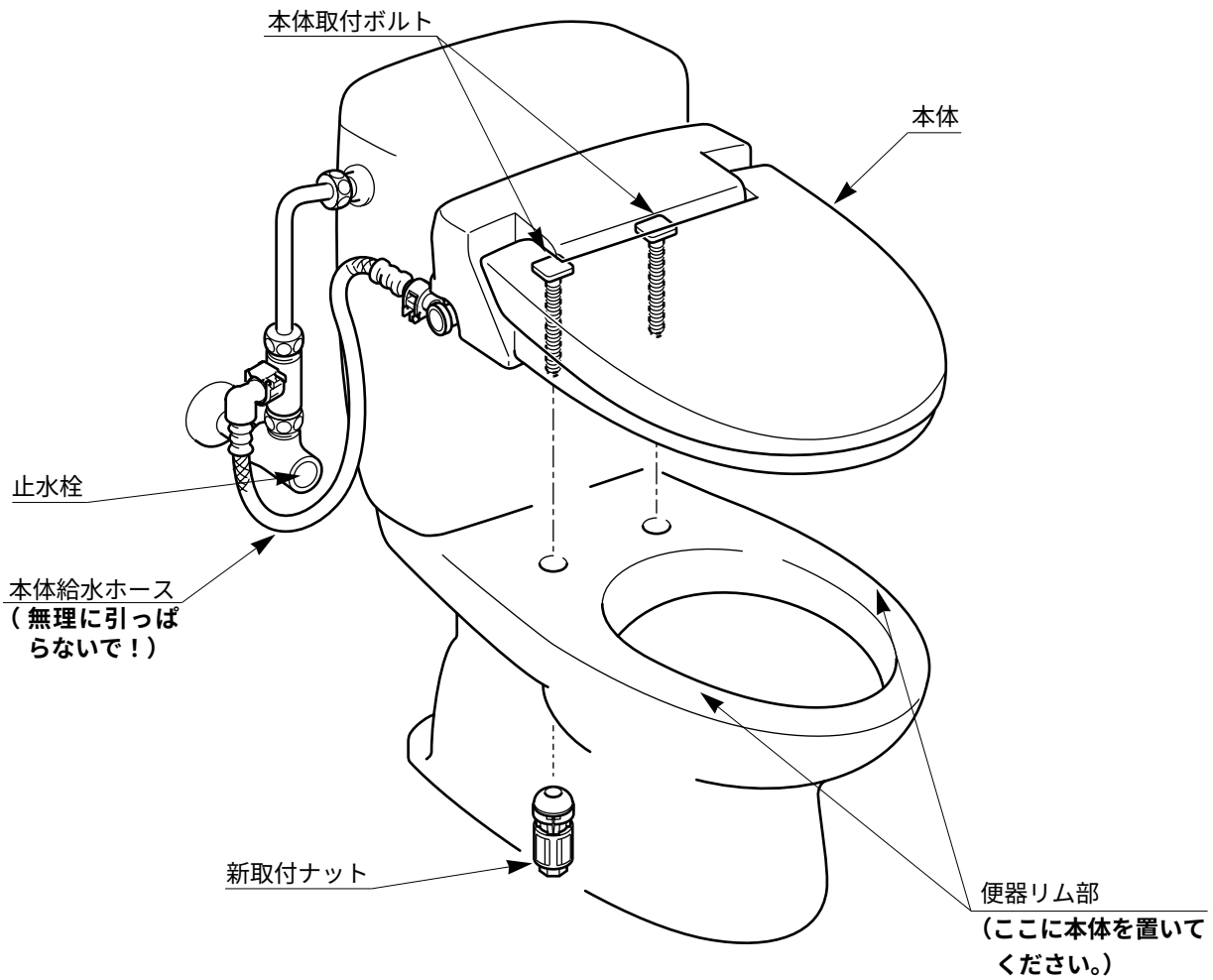
1．本体全部の外しかた

1. 電源プラグをコンセントから抜きます。
（注意1.参照）

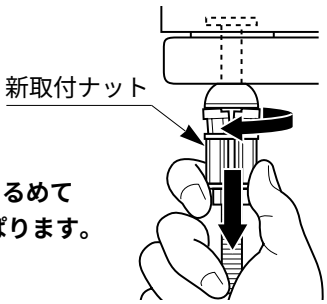


2. 止水栓を閉めて給水を止めます。
※ 止水栓は調整されているので、元の位置（どのくらい回したか）を覚えておいてください。





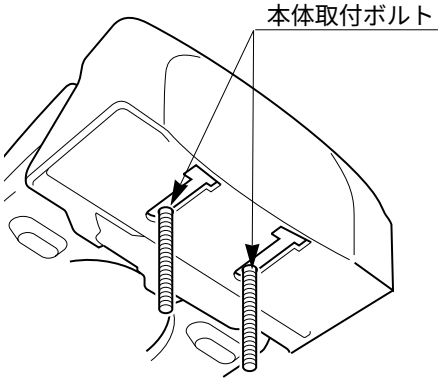
3. 本体取付ボルトから新取付ナットを外します。



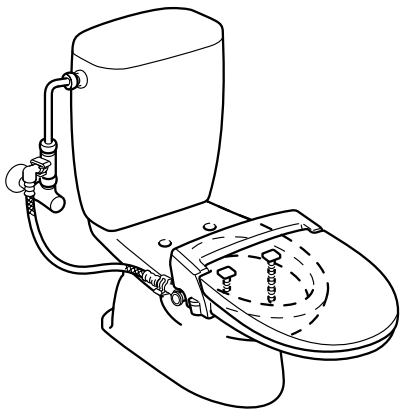
約1回転ゆるめて
下に引っぱります。

4. 本体を静かに垂直に持ち上げ、便器から外します。
（注意2.、3.、4.参照）

5. 本体に本体取付ボルトが確実に取付いていることを確認します。



6. 本体を便器リム部に静かに置きます。（注意3.、4.、5.参照）



注意

1. 電源プラグを必ずコンセントから抜いてください。
※温水タンクのカラダキによって発煙・発火の恐れがあります。

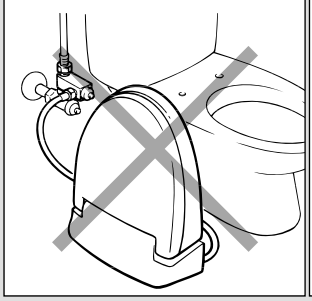
2. パッキン類や本体取付ボルトなどの部品を紛失しないように注意してください。
特に便器内に落とさないようにしてください。

3. コード類や本体給水ホースを引っぱらないでください。
※破損や漏水の恐れがあります。

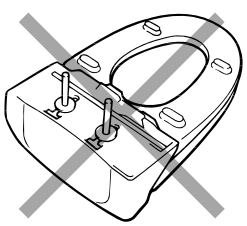
4. 本体の取外し時や清掃時には、ていねいに扱ってください。
※漏水・故障の原因となります。

5. 本体は、絶対に傾けたり、裏返さないでください。
※故障の原因になります。

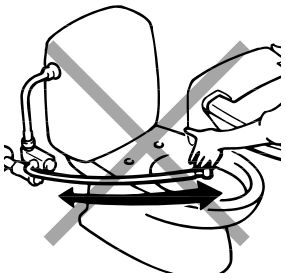
●床に置かないで！
●立てかけたりしないで！



●本体を傾けないで！
●裏返さないで！



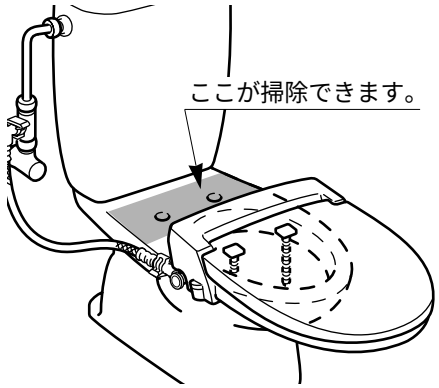
●引っぱらないで！



※分岐金具と本体の給水接続が、本体給水ホースではなく接続銅管による接続の場合は、本体を外して掃除することはできません。

2．掃除のしかた

●本体の掃除は、柔らかい布で水ぶきしてください。



※ 便器の掃除は、便器の取扱説明書にしたがってください。

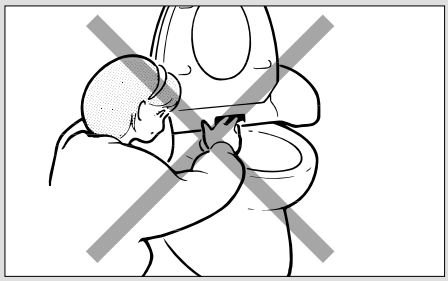
⚠ 警告

本体内に水や洗剤を入れないでください。本体や電源プラグ部に水や洗剤をかけないでください。

※ 感電・火災の恐れがあります。

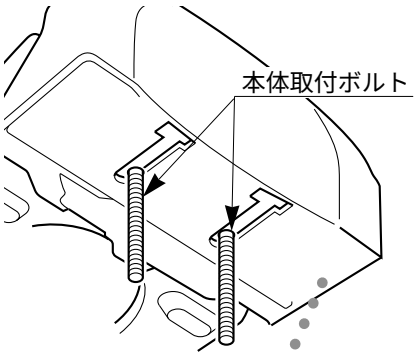
注意

- **本体を傾けないでください。**
  ※故障の原因になります。
- **便器を掃除しているとき、洗剤が本体にかからないように注意してください。また、便器に洗剤が残らないように水拭きしてから本体を取り付けてください。**
  ※洗剤が本体に付着すると故障の原因になります。
- **温風口やノズル付近に手や物を突っ込まないでください。**
  ※手をケガしたり、故障の原因になります。

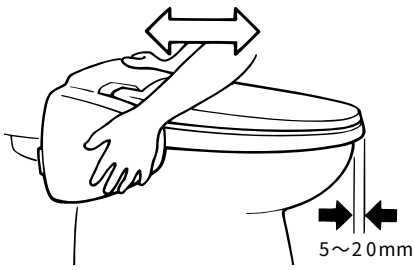


3．本体の組付けかた

1. 本体に本体取付ボルトが確実に取付いていることを確認します。

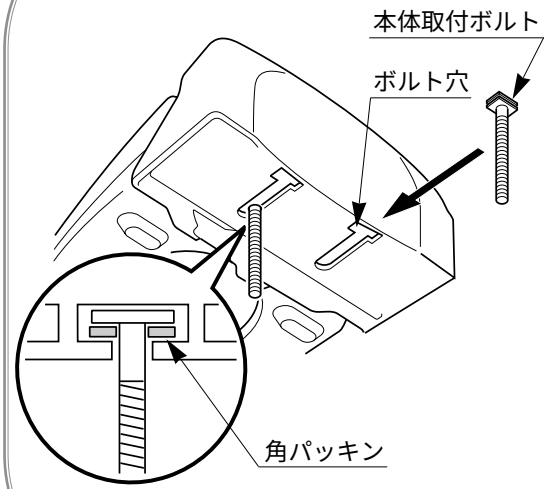


2. 本体取付ボルトを便器の取付穴に通して本体を設置します。



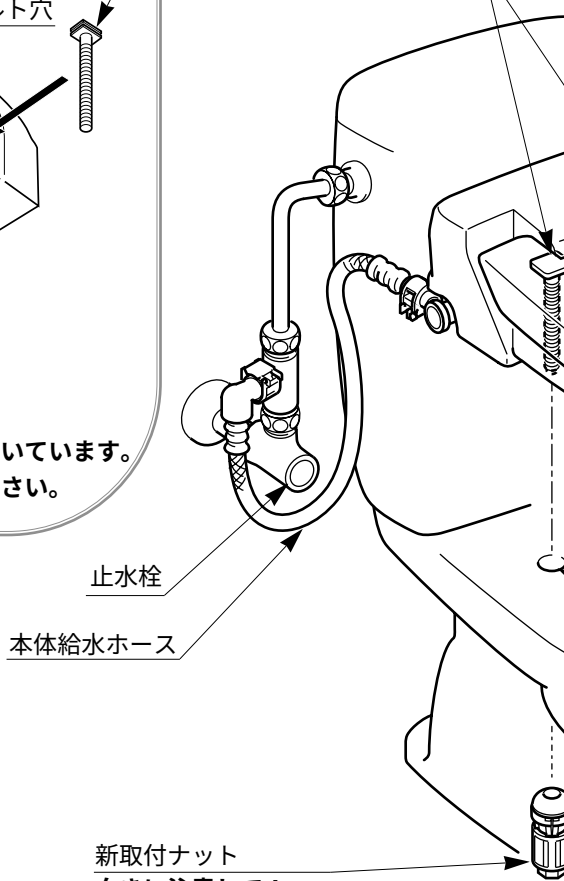
※ 便座の先端が便器の先端より5～20mm出るように前後の位置調節をします。

もし、本体取付ボルトが外れていたら、本体裏側のボルト穴に取り付けてください。



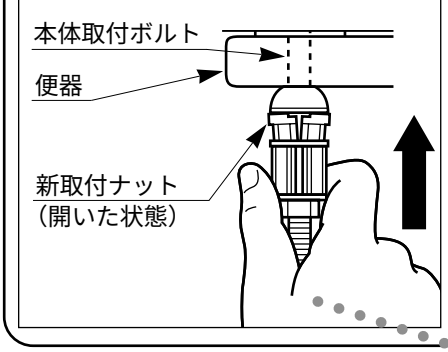
本体取付ボルトには角パッキンが付いています。角パッキンを外さないでください。

本体取付ボルト
（斜めに取り付けないで！）

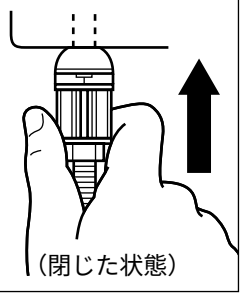


3. 本体取付ボルトに開いている新取付ナットを通して締め付けます。

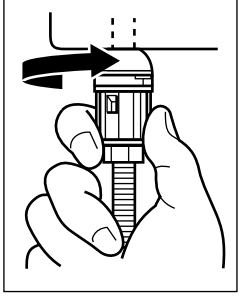
(1) ボルトに新取付ナットを通す



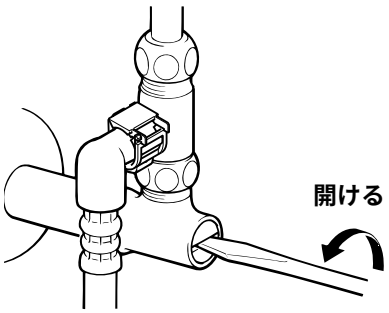
(2) 強く押し込んで閉じさせる



(3)回して締め込む

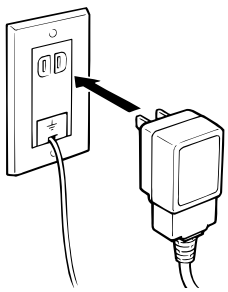


4. 止水栓を元の位置まで開いて、給水します。



※ 各部に漏水がないか確認します。

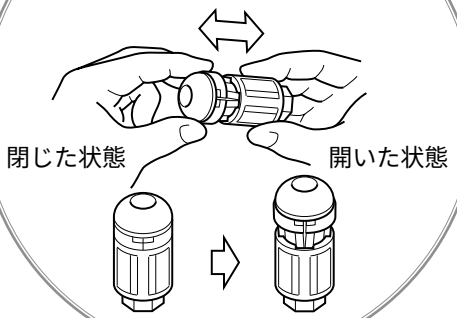
5. 電源プラグをコンセントに差し込みます。

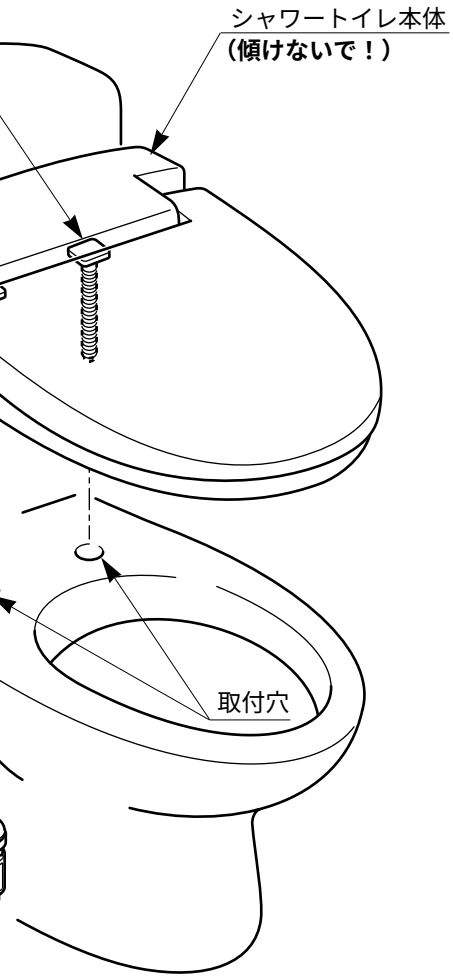


※ 動作準備のため、ノズルが一度出て戻ります。

6. 取付けが完了したら**必ず試運転を行ってください。**
（☞7、8ページ）

もし、新取付ナットが閉じていたら、引っぱって開いてください。





注意

1. ホース類を無理に曲げないでください。
※ つぶれて元に戻らなくなったり、給水しなくなります。

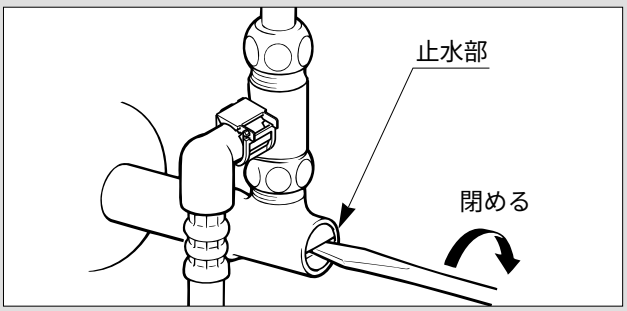
《シャワーが弱くなってきたなと思ったら》

シャワートイレを長期間使用してシャワーの勢いが弱くなりはじめたら、以下の手順でストレーナーの掃除を行ってください。（目安としては2年に1回程度です。）

ストレーナーの掃除方法

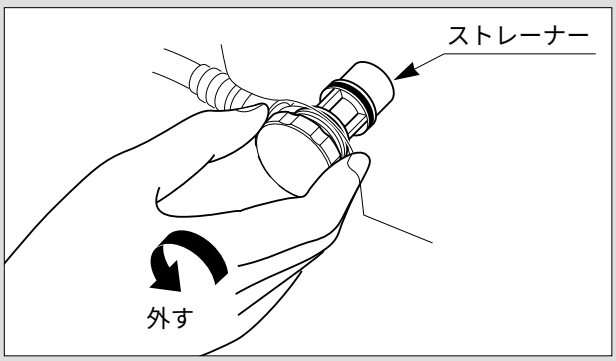
1．止水栓を閉めて、給水を止めます。

※ 止水栓は調整してありますので、元の位置（どのくらい回したか）を覚えておいてください。

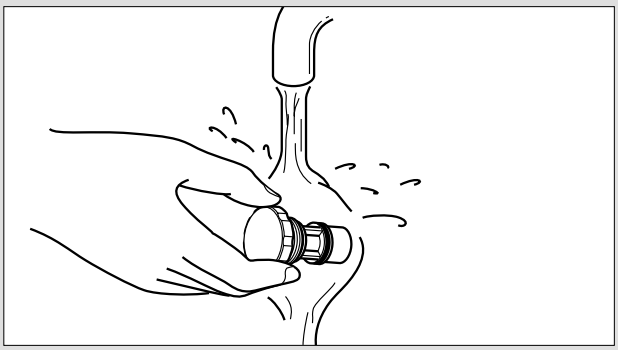


2．本体左下のストレーナーを回して外します。

※ このとき少量の水がこぼれますので、ぞうきんなどを下に置いてください。

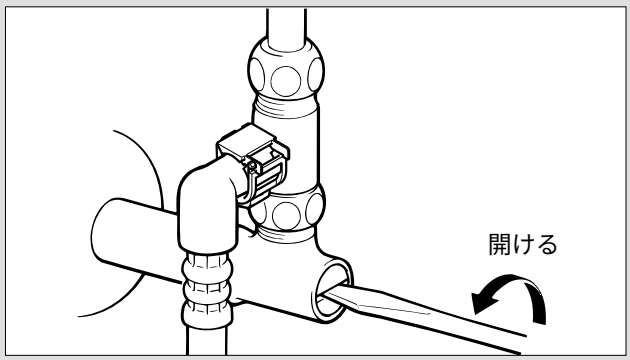


3．ストレーナーに付いているゴミを水洗いして取り除きます。



4．ストレーナーを確実に取り付けます。

5．止水栓を元の位置まで開きます。



6．最後に必ず試運転を行ってください。（☞7、8ページ）

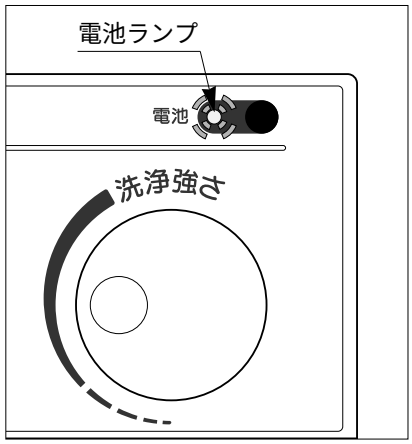
⚠ 注意

ストレーナーを外すときは、必ず止水栓を閉めてください。また、ストレーナーを取り付ける際は、すき間がないようにしっかり締めてください。

※漏水の原因になります。

《リモコンの電池交換》

リモコンの電池の寿命が近づくと、電池ランプが点滅表示します。
※ 通常は消灯しています。
※ 付属の電池は、施工時の動作チェック用のため、寿命が短い場合があります。
※ リモコンが受光部と反対側の壁に設置してある場合、電池ランプが点滅する前に使用できなくなる場合があります。



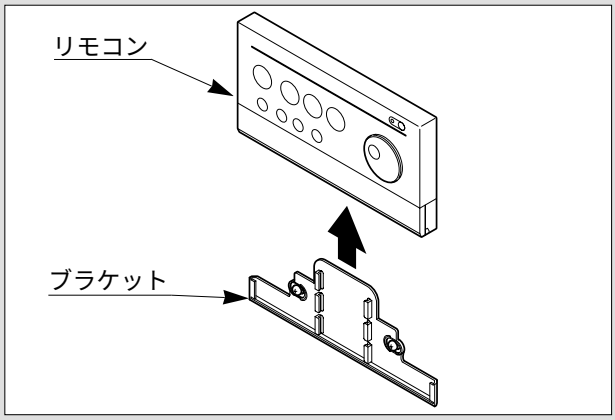
下記の要領で新しい電池に取り替えてください。

注意

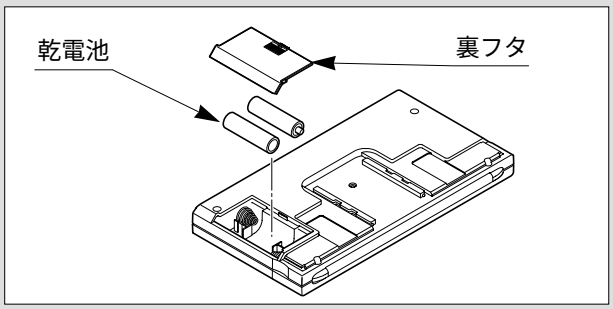
- **電池のプラスとマイナスの向きをリモコンの表示通り正しく入れてください。**
- **新しい電池と古い電池を混ぜて使わないでください。**
- **アルカリ電池を使用してください。**

リモコン電池の取替方法

1. リモコンを持ち上げて、ブラケットから外します。



2. 裏フタを外し、新しいアルカリ乾電池（1.5V単三、2本）に取り替えます。



3. 裏フタを元通りにはめ、リモコンをブラケットに上から差し込みます。

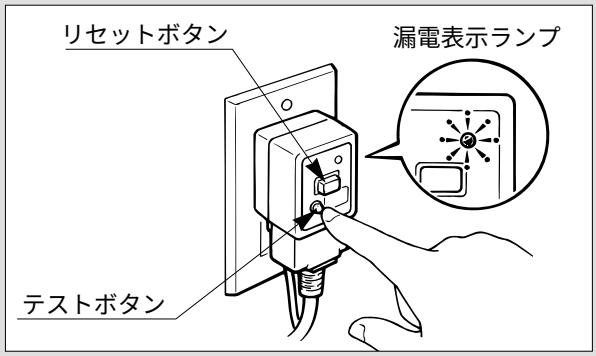
《電源プラグ（漏電保護機能付）の点検》

電源プラグの故障は、思わぬ事故につながることがあります。必ず点検を行ってください。
（目安としては月に1～2回程度です。）

電源プラグの点検方法

1. 電源プラグのテストボタンを押して、漏電表示ランプが点灯することを確認してください。

2. リセットボタンを押して漏電表示ランプが消灯することを確認してください。
※この点検を行うと、各種の設定が解除されます。再度セットし直してください。



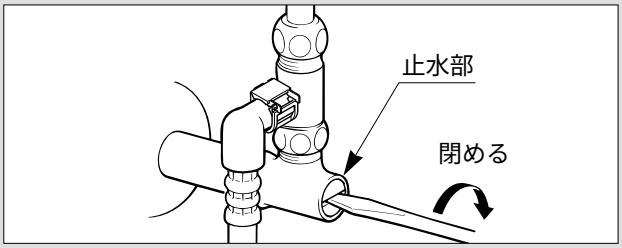
長期間使用しない場合

以下の場合は水抜きを必ず行ってください。
●旅行などで長い間、シャワートイレを使用しないとき。（水が汚れて詰まりの原因になります。）
●別荘などで使用しないとき。（人のいない家では予想以上に温度がさがり、凍結する恐れがあります。）

水抜きおよび電源の取外し

1．止水栓を閉めて、給水を止めます。

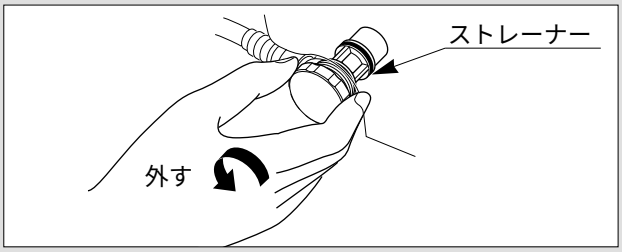
※ 止水栓は調整してありますので、元の位置（どのくらい回したか）を覚えておいてください。



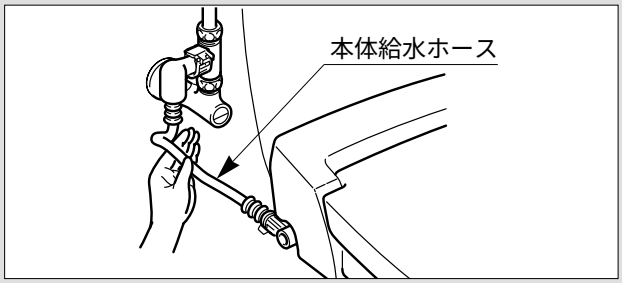
2．洗浄ハンドルを操作して、タンク内の水を抜きます。

3．本体給水ホースから水を抜きます。

1 洗面器等を置きます。
2 ストレーナーを外します。



3 本体給水ホースを持ち上げるようにして、ホース内の水を完全に抜きます。

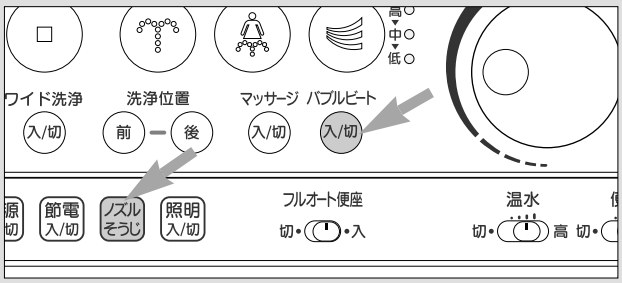


⚠ 注意

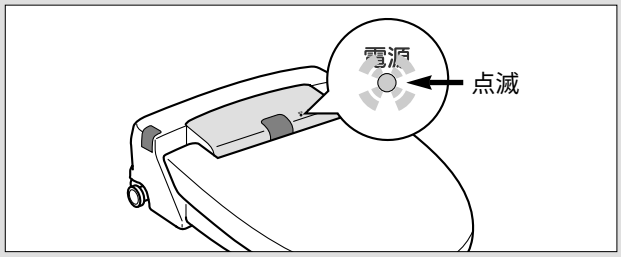
ストレーナーを外すときは、必ず止水栓を閉めてください。また、ストレーナーを取り付ける際は、すき間がないようにしっかり締めてください。
※漏水の原因になります。

4．バブルビートスイッチとノズルそうじスイッチを同時に2秒以上押します。

※ 空気ポンプが約1分間作動して、本体内部の水を抜きます。



※ 空気ポンプが作動している間、電源ランプが点滅しています。
空気ポンプの作動が終了すると、電源ランプが点灯に戻ります。



5．ストレーナーを元に戻し、電源プラグをコンセントから抜きます。

6．再び使用するときは、必ず試運転を行ってください。（☞7、8ページ）

■もし凍結してシャワーが出なくなったら

万一、本体給水ホースや給水接続部が凍結し、シャワーが噴出しない場合は、温かいお湯に浸した布等で、本体給水ホースや給水接続部を温めてゆっくり解凍するか、または室内を暖めて自然解凍を待ってください。

注意
本体給水ホースに熱湯や熱風をかけないでください。
※本体給水ホースが破損する恐れがあります。

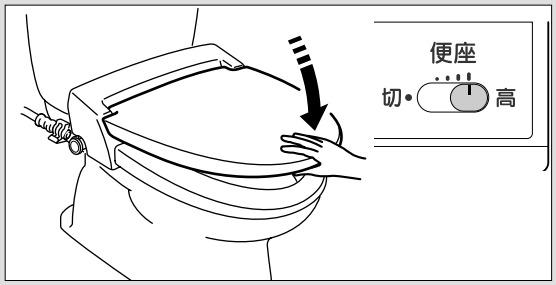
冬期凍結の恐れがある場合

冬期、冷え込みが厳しいと、シャワートイレ内の水が凍って破損することがあります。凍結破損を防止するために必ず水抜きを行ってください。
電源プラグは抜かずに必ずコンセントに差し込んでおいてください。

一 般 的 な 凍 結 防 止 方 法

1．便座スイッチを「高」にして便フタを閉じます。
節電を行っている場合は、節電を解除します。

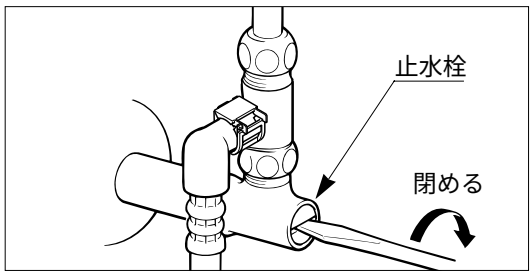
2．室内を暖房します。
トイレ室内を暖房します。



※もし室内が暖房できない場合は、以下の手順で本体給水ホースから水を抜いてください。

3．本体給水ホースから水を抜きます。
（室内が暖房できない場合）

（1）止水栓を閉めて、給水を止めます。
止水栓は調節されているので、元の位置（どのくらい回したか）を覚えておいてください。

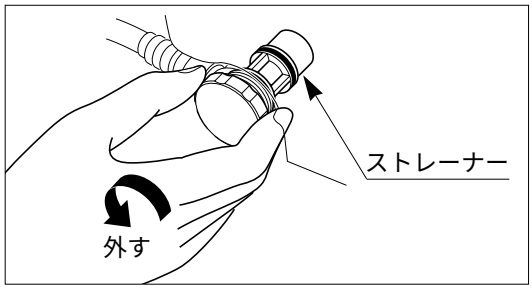


（2）本体給水ホースから水を抜きます。

1 洗面器等を置きます。

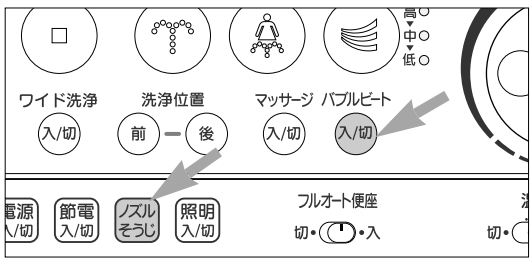
2 ストレーナーを外します。

3 本体給水ホースを持ち上げるようにして、ホース内の水を完全に抜きます。



（3）バブルビートスイッチとノズルそうじスイッチを同時に2秒以上押して残水を抜きます。（☞35ページ、手順4）

（4）水抜き後、ストレーナーを締め付けます。



4．再び使用するときは、必ず試運転を行ってください。（☞7、8ページ）

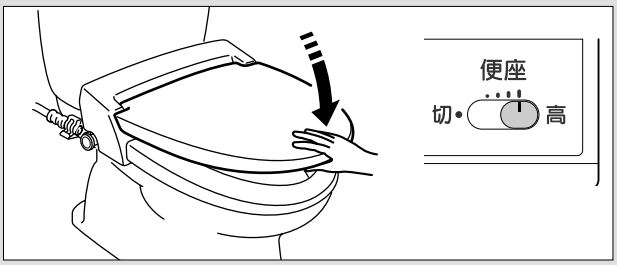
⚠ 注意

ストレーナーを外すときは、必ず止水栓を閉めてください。また、ストレーナーを取り付ける際は、すき間がないようにしっかり締めてください。
※漏水の原因になります。

流動式タイプ便器を使用している場合の凍結防止方法

1．便座スイッチを「高」にして便フタを閉じます。

節電を行っている場合は、節電を解除します。



2．室内を暖房します。

※もし室内が暖房できない場合は、「一般的な凍結防止方法」と同様にシャワートイレ内の各部の水を抜いてください。

3．便器本体の流動ハンドルを操作します。

便器本体の流動ハンドルを操作して、タンク内の水が絶えず便器内に流れるようにします。

水抜式タイプの便器を使用している場合の凍結防止方法

1．便座スイッチを「高」にして便フタを閉じます。

節電を行っている場合は、節電を解除します。

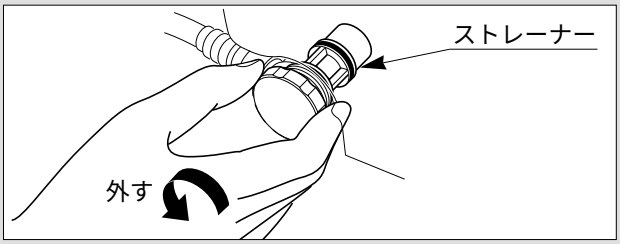
2．室内（便器）の水抜栓を操作して、配管内の水を抜きます。

3．洗浄ハンドルを操作して、タンク内の水を抜きます。

4．本体給水ホースから水を抜きます。

1 洗面器等を置きます。

2 ストレーナーを外します。



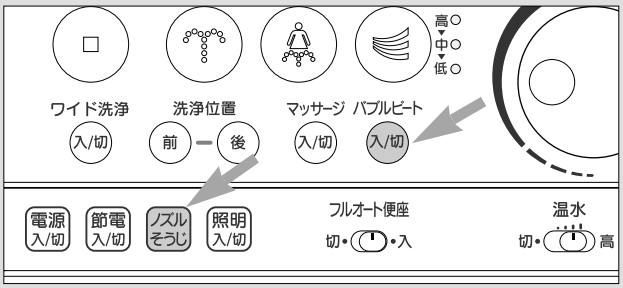
3 本体給水ホースを持ち上げるようにして、ホース内の水を完全に抜きます。

⚠ 注意

ストレーナーを外すときは、必ず止水栓を閉めてください。また、ストレーナーを取り付ける際は、すき間がないようにしっかり締めてください。

※漏水の原因になります。

5．バブルビートスイッチとノズルそうじスイッチを同時に2秒以上押して残水を抜きます。（☞35ページ、手順4）



6．水抜き後、ストレーナーを締め付けます。

7．再び使用するときは、必ず試運転を行ってください。（☞7、8ページ）

■もし凍結してシャワーが出なくなったら

万一、本体給水ホースや給水接続部が凍結し、シャワーが噴出しない場合は、温かいお湯に浸した布等で、本体給水ホースや給水接続部を温めてゆっくり解凍するか、または室内を暖めて自然解凍を待ってください。

注意

本体給水ホースに熱湯や熱風をかけないでください。

※本体給水ホースが破損する恐れがあります。

修理を依頼される前に

《故障かなと思ったら》

簡単に故障が直る場合がありますので修理を依頼される前に下記項目をご確認ください。

現　象	原　因	処　置
シャワーが出ない。 （ノズルが出ない。）	電源コンセントに電気がきていない。	停電、ブレーカーなどを確認します。
	電源スイッチが「切」になっている。	電源スイッチを押して、本体表示部の電源ランプを点灯させます。
	電源プラグがコンセントに差し込まれていない。	電源プラグを完全に差し込みます。
	漏電している。 （漏電の表示が出ている。）	電源プラグのリセットボタンを押します。それでもランプが点灯するようであれば漏電していますので、電源プラグを抜き、修理を依頼してください。
	止水栓が閉じている。	止水栓を左に回します。（☞7ページ）
	ストレーナーが目詰まりしている。	ストレーナーの掃除をします。（☞33ページ）
	着座センサーが入っていない。	便座に深く座るなど、座り方を変えます。（☞16ページ）
	着座センサーが検知しにくい衣服を着ている。	着座センサーに手などをかざします。（☞21ページ）
	着座センサーに汚れや水滴などが付着している。	汚れや水滴などを取り除きます。
	リモコンの電池が切れている	新しい電池に交換します。（☞34ページ）
	リモコンの送信部または本体の受光部が汚れている	汚れを拭き取ります。
	水道圧が低い。洗浄強さダイアルが最弱付近になっている。（☞10ページ）	洗浄強さを強くします。（☞10ページ）
	本体給水ホース等が凍結している。	暖かいお湯に浸した布等で、本体給水ホースや給水接続部を温めてください。または、室内を暖めて自然解凍を待ってください。（☞35ページ）
	便フタを（閉じた状態で）外している。	便フタを取り付けてください。
シャワーが温かくない。	温水スイッチが適当な温度に調節されていない。	温水スイッチを押し、適当な温度に調節します。（☞9ページ）
便座が暖かくない。	便座スイッチが適当な温度に調節されていない。	便座スイッチを押し、適当な温度に調節します。（☞9ページ）
	節電中である。	節電を解除します。（☞15ページ）
長時間座ると便座がぬるく感じる。	便座ヒーターオートOFF機能が働いている。	便座ヒーターオートOFF機能を解除します。（☞18ページ）
本体表示部の電源ランプが点滅している。	空気ポンプによる水抜作動中である。	約1分で点灯に戻ります。（☞35ページ）
	点滅している機能に不具合が生じている。 または点検時期が来ている。	電源スイッチを「切」にしても点滅している場合は故障していますので、コンセントから電源プラグを抜いて、修理を依頼してください。 電源スイッチを「切」にして消灯する場合は点検時期ですので、お早めに点検をお受けください。
本体がガタつく。	本体がロックされていない。	本体を奥側に押してロックさせてください。（☞28ページ）
	新取付ナットがゆるんでいる。	新取付ナットを締め直してください。（☞32ページ）

現　象	原　因	処　置
便座・便フタがバタンと落ちる。	電動開閉中に、便フタを押さえるなど負荷をかけた。	再度、便座開/閉スイッチを押し、電動開閉しない場合は、コンセントから電源プラグを抜き、修理を依頼してください。
	市販の布カバーが重い。または引っかかっている。	布カバーを外して使用するか、当社指定の布カバーを使用してください。
便フタが自動開閉しない。 便座が電動開閉しない。	フルオート便座スイッチが「切」になっている。	フルオート便座スイッチを押して、「入」にしてください。(☞16ページ)
	着座センサーに紙が貼りっぱなしになっている。	着座センサーの紙を取り除きます。
	市販の布カバーが重い。または引っかかっている。	布カバーを外して使用するか、当社指定の布カバーを使用してください。
脱臭ファンが回りっぱなし。	着座センサーに紙が貼りっぱなしになっている。	着座センサーの紙を取り除きます。
下記のときに本体から“ グググッ ”と音がする。 ●電源プラグをコンセントに差し込んだとき ●電源スイッチを押したとき ●おしり・ビデ洗浄を止めたとき	シャワートイレが正常に作動するためにモーターが動いている音です。	洗浄強さの調整や洗浄位置の調整に、異常がなければ故障ではありません。

※前記および上記処置で故障が直らない場合は、お求めの取扱店または㈱INAXメンテナンスにご相談ください。

アフターサービス

1. 修理を依頼される前に

商品が故障したら「故障かなと思ったら」（38ページ）を参照してください。
それでも故障が直らない場合は、お求めの取扱店または(株)INAXメンテナンスにご相談ください。
なお、不具合でなくても下記の場合はご相談ください。

- ●取扱説明書どおりに使用されても、まだ不明な点がある場合
- ●コードの傷みやコンセントのガタツキ
- ●コンセントや電源プラグ、コードの過熱

上記の場合、そのままにしておくと思わぬ事故につながる恐れがあります。必ずご相談ください。

⚠ 警告

修理技術者以外の人は、絶対に分解したり修理・改造は行わないでください。
※ 感電・火災の原因や、異常作動してケガをすることがあります。

2. 保証書をご覧ください

この商品は保証書がついています。保証書は、取扱店で所定事項を記入してからお渡しいたします。
記載内容をご確認いただき、大切に保管してください。

保証期間は取付けの日から2年間です。

保証期間内でも有料になることがありますので、保証書の記載内容をよくご確認ください。

3. 修理を依頼されるとき

■保証期間中の修理

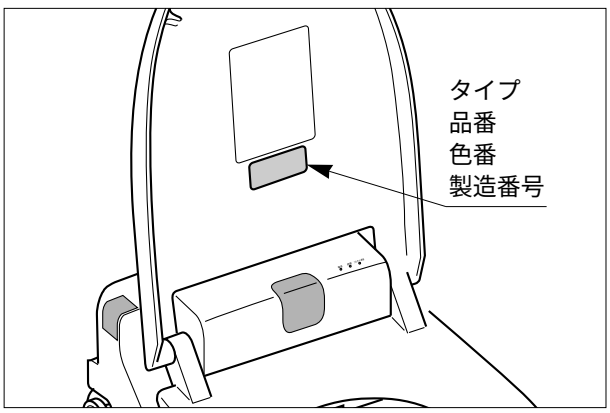
修理に際しては、必ず保証書をご提示ください。保証書の規定にしたがって修理させていただきます。

■保証期間経過後の修理

修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理いたします。
料金の内訳は、技術料＋出張料＋部品代です。

■連絡していただきたい内容

1. ご住所・ご氏名・電話番号
2. タイプ・品番・色番・製造番号
   （便フタ裏側の品番シールをご覧ください。）
3. ご購入日（保証書をご覧ください）
4. 故障内容・異常の状況（できるだけ詳しく）
5. 訪問ご希望日



4. 補修用性能部品の最低保有期間

シャワートイレの補修用性能部品の最低保有期間は、製造打切後6年です。保有期間経過後の修理では、部品がない場合がありますのでご了承願います。

※ 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

5. 定期点検のおすすめ

有料となりますが、次のような場合は定期的に点検を受けていただくことをおすすめします。

- ●ご使用上支障がなくても長くお使いいただくため、お買上げより3年たったもの
- ●温泉地域および海岸付近など、特に腐食をおこしやすいところで使用されるもの
- ●長期間のご使用により電源ランプが点滅した場合

定期点検については、㈱INAXメンテナンスまでご相談ください。

点検料金の内訳は、点検料（技術料）＋出張料＋部品代（交換した場合）です。

6. 商品について不明な点、およびアフターサービスについておわかりにならないとき

お求めの取扱店または当社お客さま相談センターにご相談ください。

使い方・お手入れ方法等、商品についてのお問合せは

（株）INAX「お客さま相談センター」

TEL 0120-1794-00
FAX 0120-1794-30

受付時間　平日　　9:00～19:00
土日・祝日10:00～18:00（夏季、年末年始の休みは除く）

修理のご依頼は

お求めの取扱店または
（株）INAXメンテナンス

TEL 0120-1794-11

受付時間9:00～22:00（365日受付＆修理）

FAX 0120-1794-56

ホームページアドレス　http://www.i-mate.co.jp

仕　様

タイプ		CW-E37型、CW-RX2型	CW-E35型、CW-RX1型
給水方式		水道直結式	
使用水道圧範囲		0.05～0.74MPa {0.5～7.5kgf/cm²}	
最大定格		AC100V、1,200W、50/60Hz	
商品寸法		幅415×奥行551×高さ152mm	
商品質量		約5kg	
おしり・ビデ洗浄	湯沸かし方式	連続出湯式	
	ノズル	ノズルクリーニング機能付、おしり・ビデ専用　電動モーター式	
	ノズル穴	おしり用：φ1.4×1ヶ、ビデ用：φ0.7×9ヶ	
	おしり洗浄吐水量	温水のみ：0～0.5L/分（バブルビート洗浄）	
	ビデ洗浄吐水量	温水のみ：0～0.55L/分（泡沫ソフトビデ洗浄）	
	温水ヒーター容量	1,090W	
	温水制御温度	切（水温）・低（約36℃）・中（約38℃）・高（約40℃）4段階	
	安全装置	温度ヒューズ・高温感知スイッチ・ 安全サーモスタット・流量センサー	
	快適洗浄機能	バブルビート洗浄、洗浄位置調節、ワイド洗浄、マッサージ洗浄	
乾燥	風量	0.3m³/分	
	温風ヒーター容量	250W	
	温風温度調節	低・中・高3段階	
	安全装置	温度ヒューズ・サーモスタット	
便座・便フタ	ヒーター容量	45W	
	表面温度	切（室温）・低（28℃）・中（36℃）・高（40℃）	
	温度調節	4段階切替（マイコン制御、便座ヒーターオートOFF付）	
	安全装置	温度ヒューズ	
	快適機能	フルオート便座、電動開閉、 便座・便フタスローダウン	便座・便フタスローダウン
脱臭	脱臭方式	脱臭カートリッジによる化学吸着方式	
	脱臭能力	プレ・アフター脱臭時：0.14m³/分、標準脱臭時：0.11m³/分	
	脱臭カートリッジ寿命	約7年	
節電機能		スーパー節電（24時間節電）、節電切タイマー（6時間後自動復帰）	
照明機能		ほのかライト	
着座センサー		光電式	
電源コード		有効長さ1.2m（漏電保護プラグ付）	
清掃性		便フタワンタッチ着脱機構、本体スライド着脱、本体クイック着脱	
使用温度範囲		0～40℃	

注意 この商品は、日本国内向け仕様です。海外での使用は、おやめください。

別売品のご案内

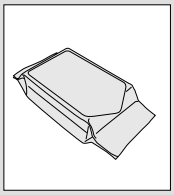
INAXでは、快適なトイレ空間造りのお手伝いとして、シャワートイレのメンテナンス用品をはじめとする、数々の別売品を用意しております。

別売品について

■トイレ用おそうじティッシュ（品番：CWA-36）

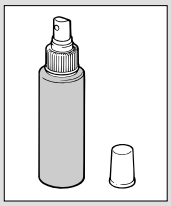
プラスチックを傷めず、除菌効果に優れたトイレ専用ウェットティッシュです。使用後、便器にそのまま流せます。（☞23ページ）

※ 環境にやさしい牛乳パック再生紙使用。



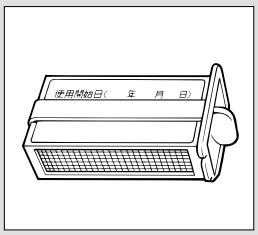
■シャワートイレお掃除クリーナー（品番：CWA-20）

プラスチックを傷めないスプレー式シャワートイレ専用洗剤です。シュッと吹きかけて、ただふき取るだけ。脱臭剤配合で便器にもご使用になれます。（☞23ページ）



■取替え用脱臭カートリッジ（品番：CWA-33）

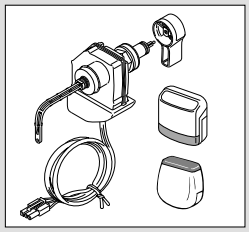
脱臭カートリッジの寿命は、約7年です。ニオイが気になりだしたら交換してください。
（☞26ページ）



■流せるもん（品番：CWA-66またはCWA-67）

便座から立ち上るだけで便器洗浄を行います。もちろんリモコンでも操作できます。

※ 便器によっては、取付けできない場合もあります。



■シートカバー品番　　：ACF-355、ACF-455（シャワートイレ用）

■便フタカバー品番

(電動開閉付の場合)　：ACF-446、ACF-A46、ACF-B46（電動開閉フタ用）

(電動開閉無の場合)　：ACF-344、ACF-444、ACF-A44、ACF-B44、ACF-C44（ショートタイプ）

シートカバーや便フタカバーは、当社のアクセサリーからお選びください。
他社製品や不適切なカバーによっては、便座が立たなかったり、着座センサーが入り放しになったりして、不具合が生じる場合があります。

※ 電動開閉無の場合、便フタカバーはACF-446、A46、B46もご使用になれます。

別売品の購入方法

●直接、購入される場合

お求めのシャワートイレ取扱店、またはお近くのINAXショールームでお求めください。また、全国有名スーパー、大手家電量販店でもお求めになれます。（一部、取扱っていない場合もあります。）

●宅配サービスを利用される場合

お近くの㈱INAXメンテナンスにご連絡ください。
宅配サービスにてお届けします。（宅配サービスの場合は送料が別途必要となります。）

ご注文フリーダイヤル：0120-00-1794
受付時間　　9：00～17：00（年末年始・夏季休暇を除く）

保証書 （※この保証書は、E37型, E35型専用です。RX2型, RX1型は別梱されている保証書をご使用ください。）

本書は、本書記載内容で、無料修理を行うことをお約束するものです。下記保証期間内に故障が発生した場合は、本書をご提示のうえ、お買い求め取扱店に修理をご依頼ください。

*品番・取付日・お客さま・取扱店の欄に記載のない場合は、無効になります。

品名及び品番

シャワートイレPASSO（品番：CW-E □□ ）

保証期間

取付日より2ヶ年

取付日

年　　月　　日

お客さま

おなまえ

様

おところ

おでんわ

（　　）　　-

無料修理規定（保証規定）

1.「取扱説明書」・「ラベル」などの注意書に従った正常な使用・維持管理状態で、保証期間内に故障した場合、無料修理いたします。
2. 無料修理をお受けになる場合、お買い求めの取扱店にご依頼のうえ、本書をご提示ください。
3. ご転居、ご贈答品などで、本書に記載の取扱店に修理を依頼できない場合、本書内、アフターサービスのページに掲載の、（株）INAXメンテナンスにご相談ください。
4. 保証期間内でも、以下の場合、有料修理とさせていただきます。
   （1） 取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書によらないでご使用になった場合の故障及び損傷
   （2） お買い上げ・引き渡し後の設置場所の移動、及びそれに伴う落下などによる故障及び損傷
   （3） 施工説明書に指示する方法以外の工事または取付が原因で生じた故障及び損傷
   （4） 掃除・維持管理上の不備による汚れ・さび・排水の詰まりなどによる不具合
   （5） 温泉水・中水・井戸水などであって水道法に定められた飲料水の水質基準に適合しない水を給水したことに起因する故障及び損傷不具合
   （6）不当な修理、または改造を行ったことが原因で生じた故障及び損傷
   （7）火災・地震・水害・落雷、その他の天災地変、公害、気象条件及び環境条件による現象（凍害・結露等）、異常水圧、異常電磁波による故障及び損傷
   （8）消耗部品（パッキン、ヒューズ、電池、電球等）
   （9）本書の提示がない場合
   （10）本書に品番・取付日・お客さまのお名まえ・取扱店名の記入のない場合、あるいは字句の書き替えられた場合
5. 本書は日本国内においてのみ有効です。
6. 本書は再発行いたしませんので、紛失しないように大切に保管してください。

本書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて、無料修理を行うことをお約束するものです。従って、本書によって、お客さまの法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理など、ご不明な場合、お買い求めの取扱店または本書に掲載の、お客さま相談センターにお問い合わせください。修理に必要な補修用性能部品の保有期間は、製造打切後6ヶ年です。

年月日	損傷と処置	サービス担当者

取扱店（店名・住所・TEL）

株式会社INAX

愛知県常滑市鯉江本町　〒479-8585
TEL:(0569)35-2700 **(代表)**
ホームページアドレス　http://www.inax.co.jp/

GCW-1077(02102)